

健康に関するアンケート調査
調査結果報告書

平成 24 年 9 月
伊 予 市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 報告書の見方	2
II 調査結果（一般市民調査）	3
1 回答者自身について	3
2 ふだんの生活状況・健康状態などについて	10
3 心の健康、休養について	18
4 お酒、たばこについて	25
5 歯について	31
6 健康診査などについて	35
7 その他	45
III 調査結果（小中学生調査）	49
1 回答者自身について	49
2 ふだんの生活状況・健康状態などについて	50
3 お酒、たばこについて	53
IV 資料（調査票）	55
1 一般市民調査	55
2 小中学生調査（小学生用）	63
3 小中学生調査（中学生用）	65

I 調査概要

I 調査概要

1 調査目的

平成 24 年度中に、伊予市健康づくり計画「元気でしあわせ☆健康い～よ 2 1 !」の最終評価を行い、次期計画を策定するにあたり、今後のより良い健康づくり事業の推進に向けて、健康意識の現状および、今後の健康づくりに対する意識を把握し、施策の改善や充実を図り、伊予市の健康づくりに対する取組みをより一層進めていくために実施した。

2 調査設計

(1) 調査地域 伊予市全域

(2) 調査対象

①一般市民調査 市内在住の 20 歳以上の住民の中から無作為抽出

②小中学生調査 伊予市内の小学 5 年生、中学 2 年生の全員

(3) 標本数

①一般市民調査 2,000 人

②小中学生調査 726 人

(4) 回収数

①一般市民調査 787 人 (回収率 39.4%)

②小中学生調査 713 人 (回収率 98.2%)

(5) 有効回収数

①一般市民調査 785 人 (有効回収率 39.3%)

②小中学生調査 713 人 (有効回収率 98.2%)

(6) 調査方法

①一般市民調査 郵送配布－郵送回収

②小中学生調査 学校配布－学校回収

(7) 調査期間 平成 24 年 7 月 13 日～ 7 月 31 日

3 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、比率の数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (3) グラフ中の「N (=number of case)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表す。
- (4) 設問のクロス集計表においては、上位1位の項目を「太枠・網かけ」、上位2位の項目を「太枠」で表記している。

II 調查結果 (一般市民調查)

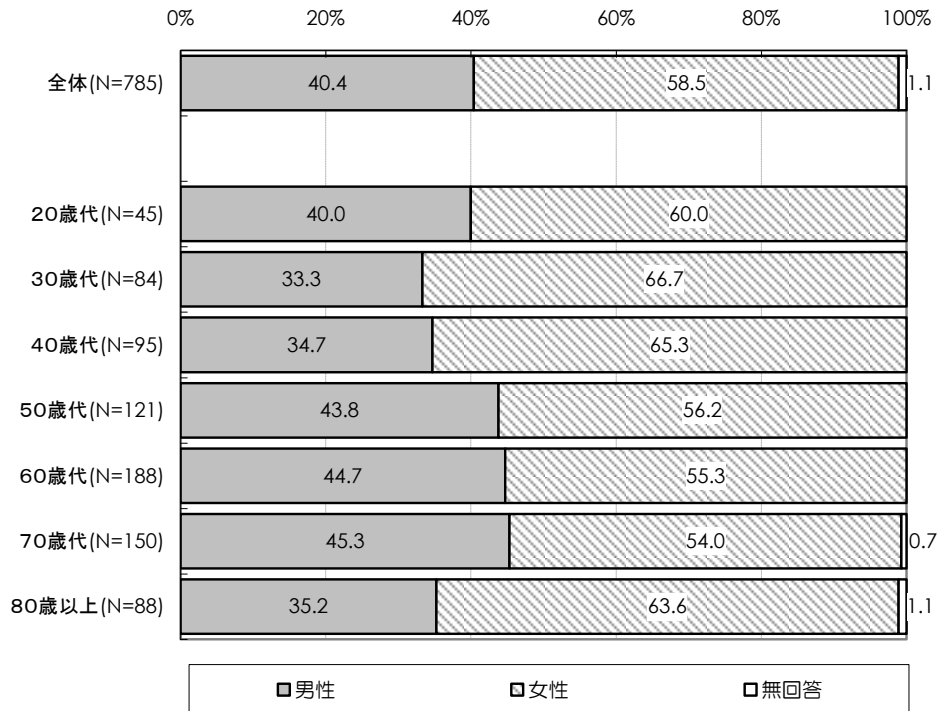
回答者自身について

問1 性別を教えてください。

（○は1つだけ）

性別について、「男性」が40.4%、「女性」が58.5%となっている。

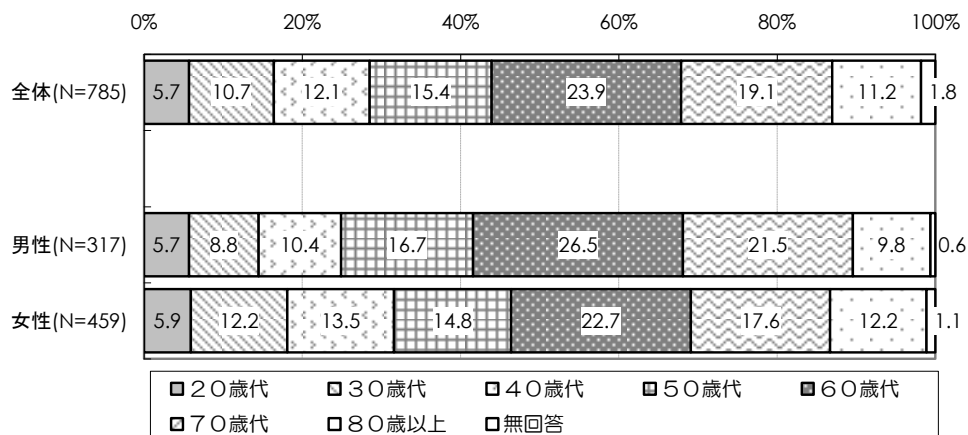
年齢別にみると、20～40歳代、80歳以上では、「女性」が6割以上となっている。



問2 年齢（平成24年7月1日現在）を教えてください。

年齢について、「60歳代」が23.9%と最も多く、次いで「70歳代」が19.1%、「50歳代」が15.4%となっており、50歳以上の人約7割を占めている。

男性では、50歳以上の人約7割以上を占めているのに対し、女性では67.3%となっており、30～40歳代の回答もやや多くなっている。

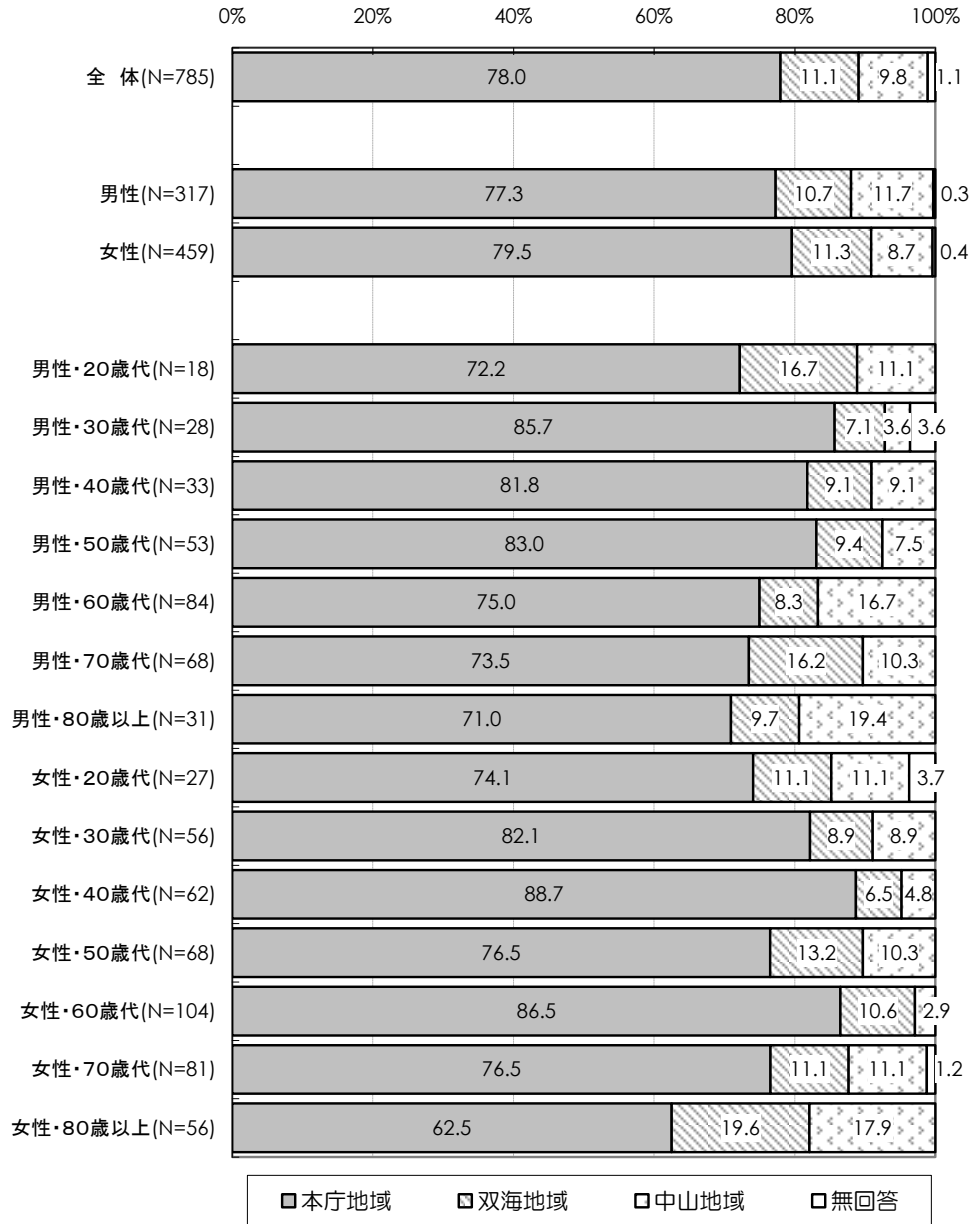


問3 居住している地域は、どちらですか。

(○は1つだけ)

居住地域について、「本庁地域」が78.0%、「双海地域」が11.1%、「中山地域」が9.8%となっている。

性別では居住地域に大きな違いは見受けられないが、性年齢別にみると、男女ともに80歳代で「双海地域」、「中山地域」の割合が高くなっている。

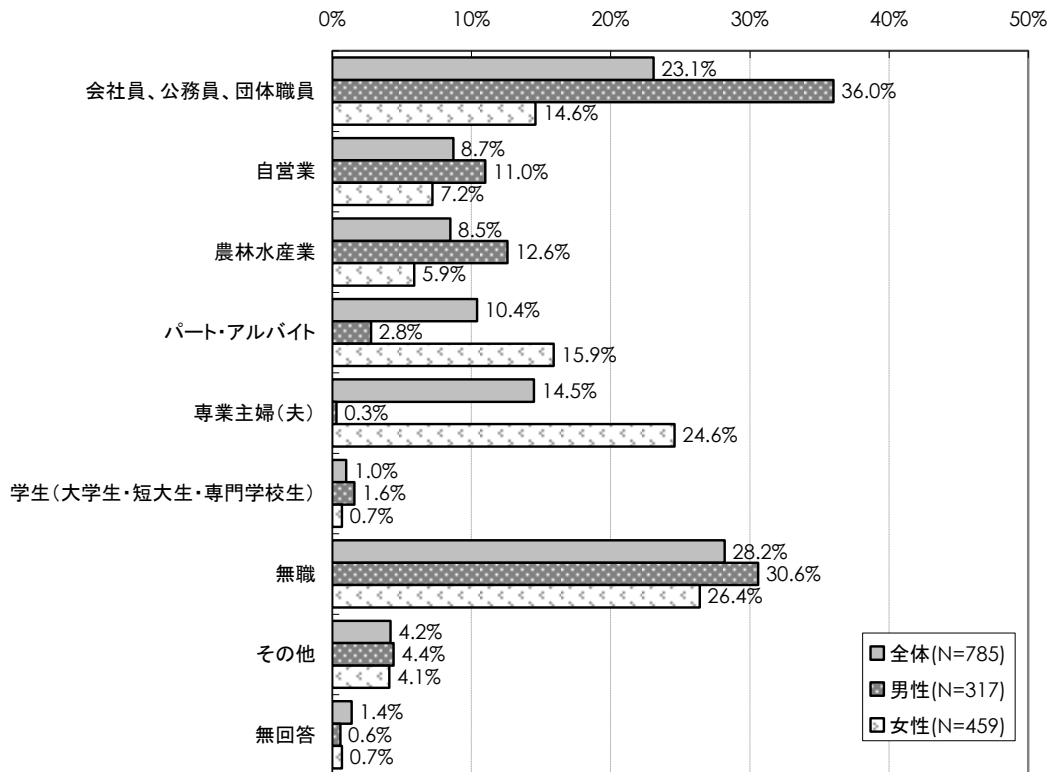


問4 現在のお仕事などは何ですか。

（○は1つだけ）

職業については、「無職」が28.2%と最も多く、次いで「会社員、公務員、団体職員」が23.1%、「専業主婦（夫）」が14.5%、「パート・アルバイト」が10.4%の順となっている。これは、回答者の年齢層が高いことが影響していると考えられる。

男性では「会社員、公務員、団体職員」が36.0%と最も多く、女性では「無職」が26.4%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が24.6%と2割以上を占める結果となっている。



■ 問4のクロス集計（性年齢別）

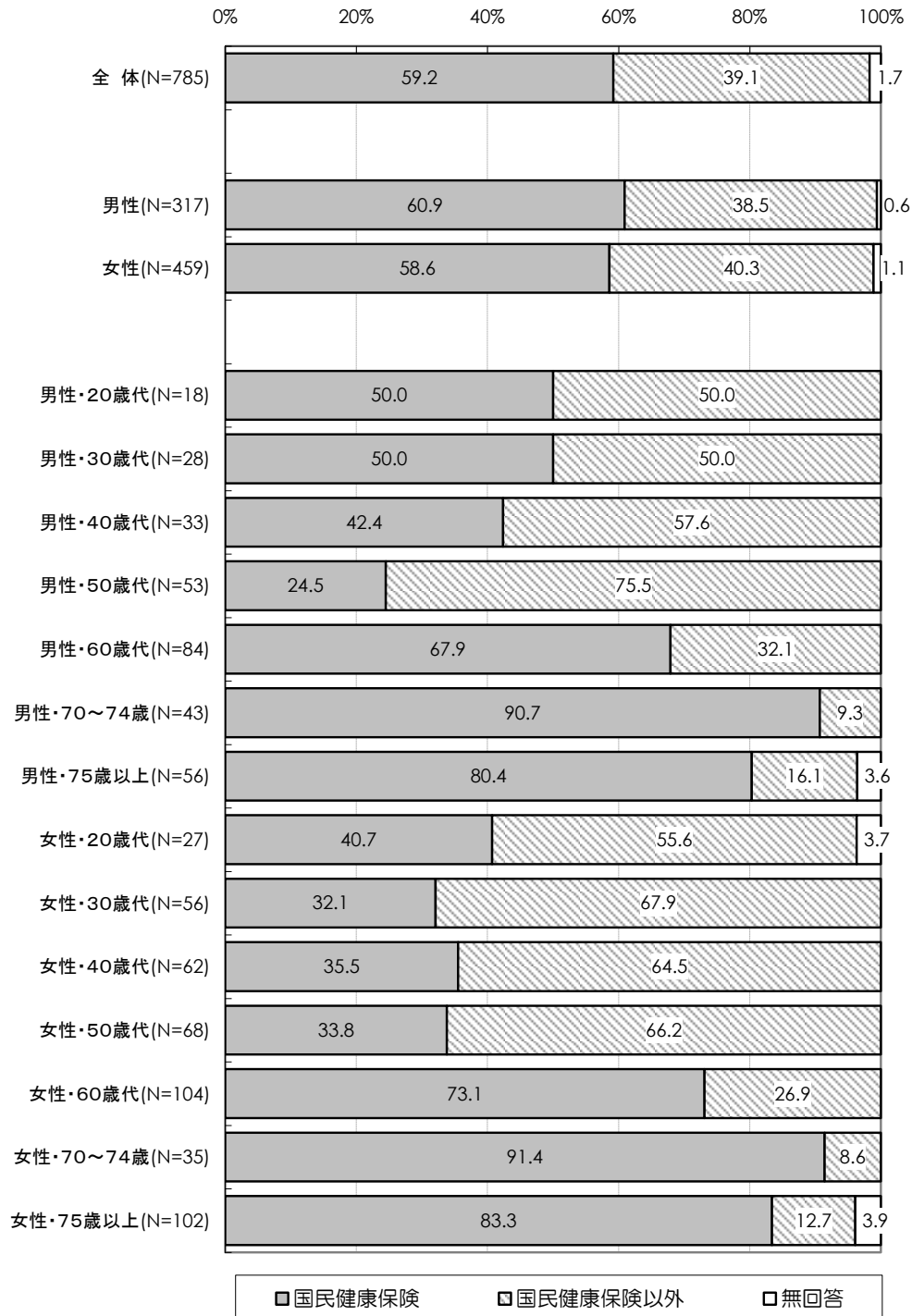
	会社員、公務員、団体職員	自営業	農林水産業	パート・アルバイト	専業主婦（夫）	学生（大学生・短大生・専門学校生）	無職	その他	無回答
男性・20歳代(N=18)	55.6	5.6	0.0	0.0	0.0	27.8	0.0	11.1	0.0
男性・30歳代(N=28)	75.0	3.6	7.1	3.6	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6
男性・40歳代(N=33)	72.7	18.2	6.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
男性・50歳代(N=53)	71.7	15.1	1.9	0.0	0.0	0.0	5.7	3.8	1.9
男性・60歳代(N=84)	22.6	9.5	20.2	8.3	0.0	0.0	34.5	4.8	0.0
男性・70歳代(N=68)	1.5	16.2	19.1	1.5	1.5	0.0	54.4	5.9	0.0
男性・80歳以上(N=31)	0.0	0.0	16.1	0.0	0.0	0.0	80.6	3.2	0.0
女性・20歳代(N=27)	44.4	0.0	0.0	7.4	14.8	11.1	11.1	11.1	0.0
女性・30歳代(N=56)	28.6	5.4	0.0	21.4	33.9	0.0	3.6	5.4	1.8
女性・40歳代(N=62)	27.4	4.8	4.8	40.3	12.9	0.0	8.1	1.6	0.0
女性・50歳代(N=68)	25.0	11.8	4.4	27.9	20.6	0.0	5.9	4.4	0.0
女性・60歳代(N=104)	4.8	8.7	10.6	11.5	39.4	0.0	24.0	1.0	0.0
女性・70歳代(N=81)	0.0	9.9	8.6	3.7	25.9	0.0	44.4	6.2	1.2
女性・80歳以上(N=56)	0.0	1.8	5.4	0.0	7.1	0.0	80.4	3.6	1.8

問5 保険の種類は、どちらですか。

（○は1つだけ）

保健の種類については、「国民健康保険」が59.2%、「国民健康保険以外」が39.1%となっている。性別では回答割合に大きな違いは見受けられないが、性年齢別で見ると、男女ともに年齢が高くなるほど「国民健康保険」が多くなっている。

また、75歳以上は“後期高齢者医療保険”であることから、全員が「国民健康保険以外」の回答とならなければいけないところであるが、「国民健康保険」の回答が男女ともに8割以上を占めることから、制度（後期高齢者医療制度）の周知・浸透ができていないことが分かる。

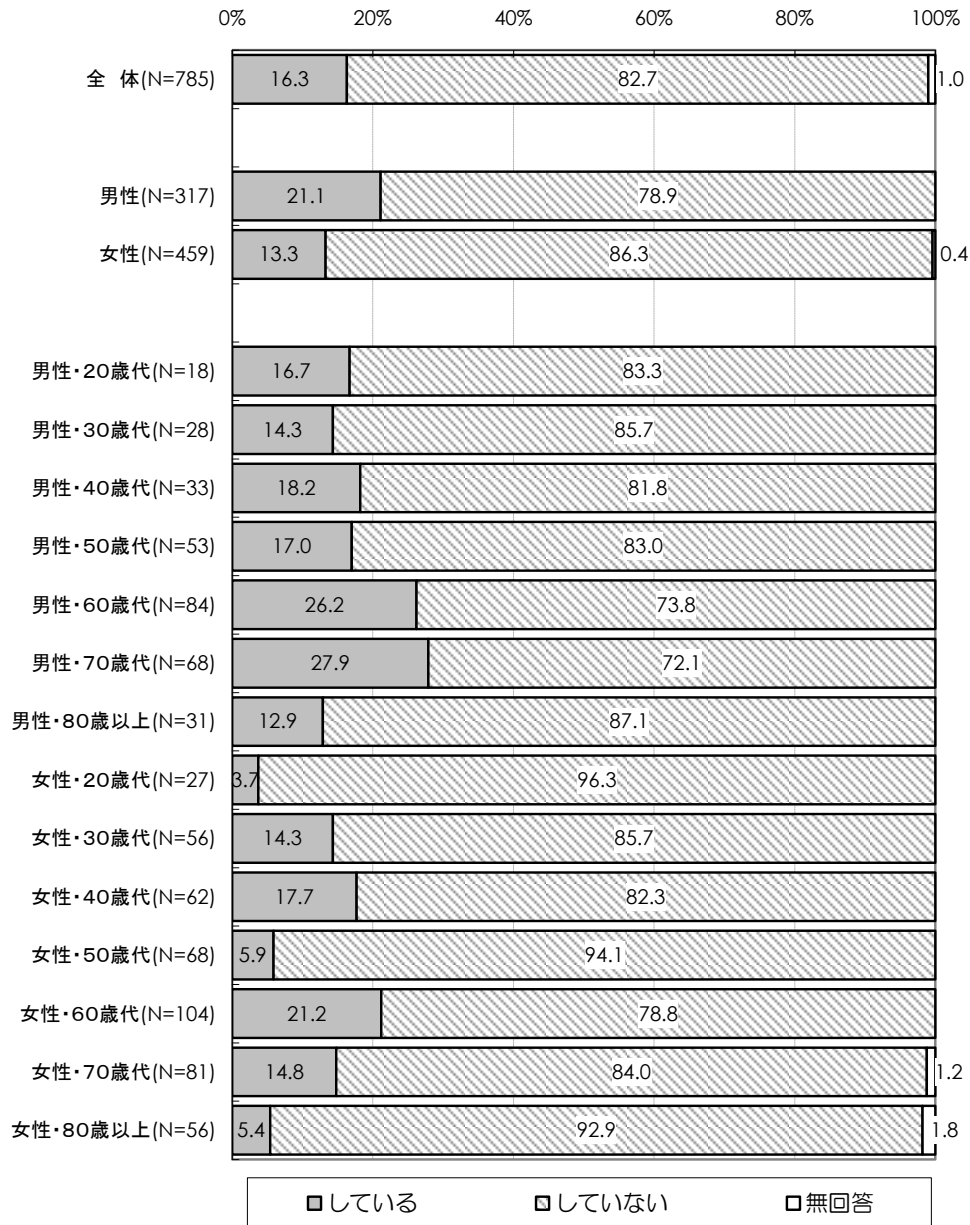


問6 現在、地域の役員や、健康・医療サービス等に関係したボランティア活動等、何かしらの地域活動をしていますか。 (○は1つだけ)

地域活動への参加については、「している」が16.3%、「していない」が82.7%となっており、ほとんどの人が参加していないことが分かる。

性別で見ると、男性では「している」が21.1%と、2割以上の参加率となっている。

性年齢別にみると、男女ともに60～70歳代の参加率が高く、特に男性では3割近くとなっている。一方で、女性の20歳代、50歳代、80歳以上では参加率が1割未満となっている。



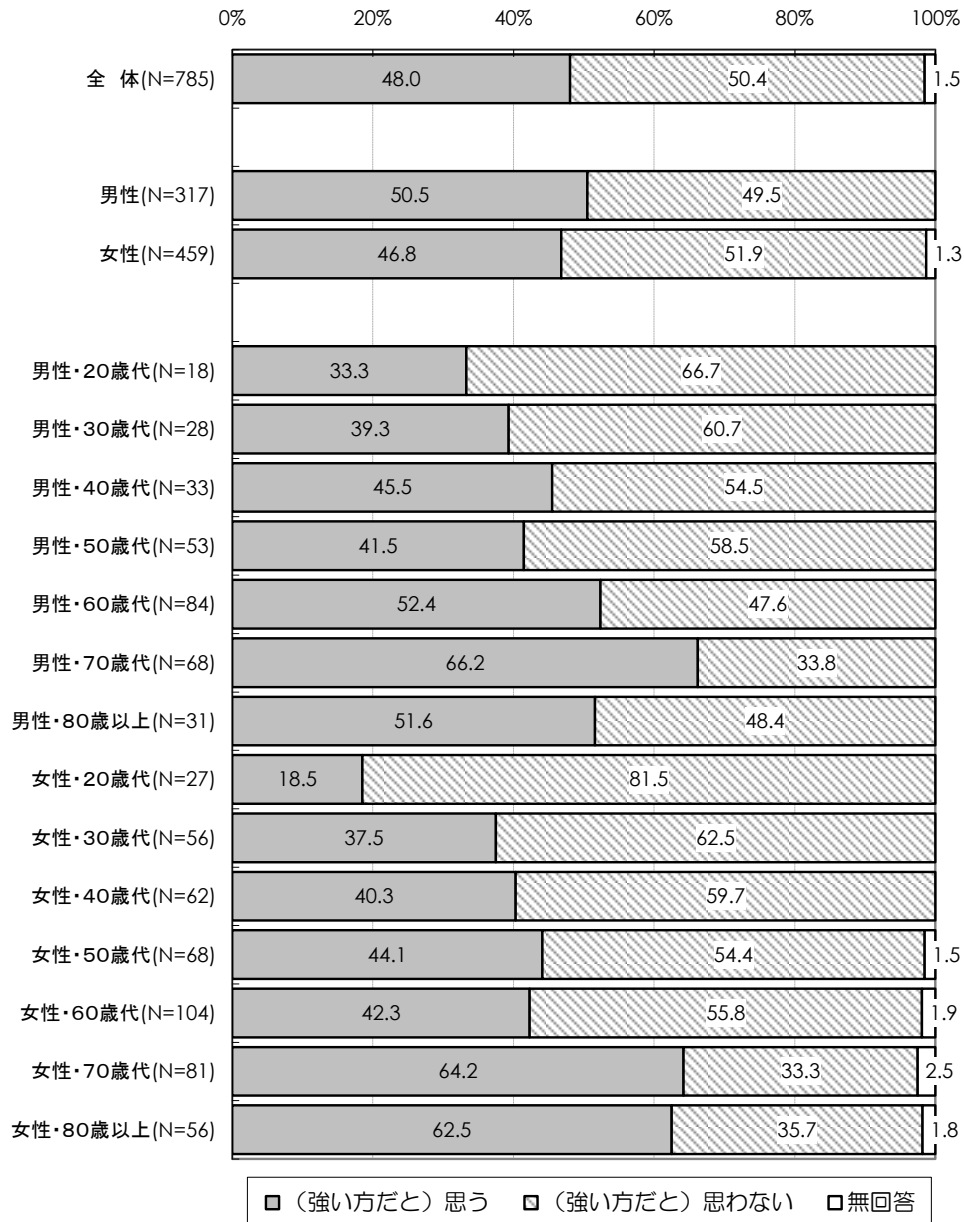
問7 ご自身は、地域のつながりが強い方だと思いますか。

（○は1つだけ）

地域とのつながりについては、「(強い方だと)思う」が48.0%、「(強い方だと)思わない」が50.4%となっており、地域とのつながりをあまり感じていない人の方が多い結果となっている。

性別で見ると、男性では「思う」が50.5%と半数以上を占めているのに対し、女性では「思わない」が51.9%と半数以上を占める結果となっている。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど地域とのつながりを感じている人が多く、特に男性の70歳代、女性の70歳以上では6割を超える結果となっている。



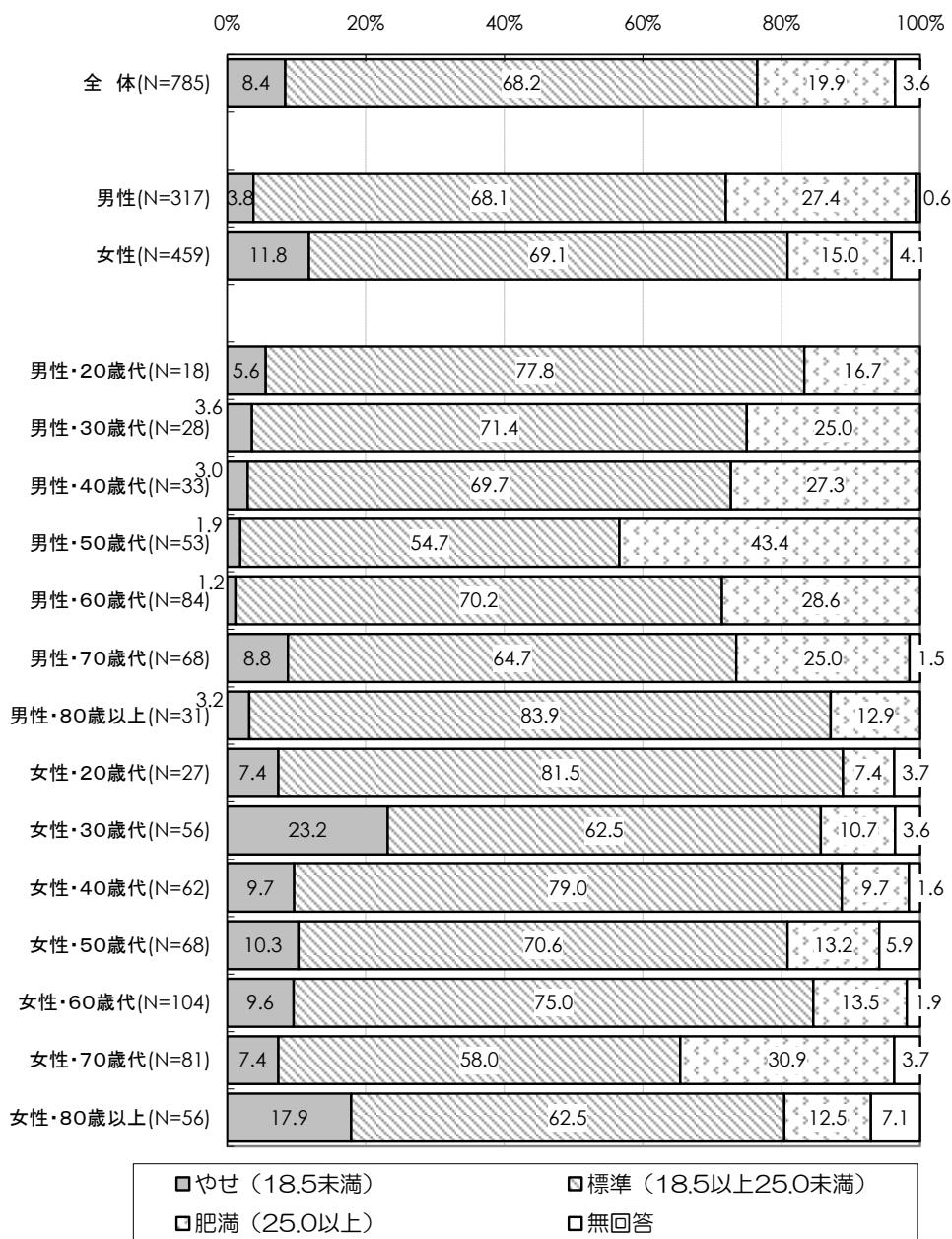
ふだんの生活状況・健康状態について

問8 身長と体重を教えてください。

身長・体重よりBMIを算出すると、BMI 18.5～25.0未満の「標準」が68.2%と最も多くなっているものの、BMI 18.5未満の「やせ」が8.4%と1割近く、BMI 25.0以上の「肥満」が19.9%と約2割を占めている。

性別で見ると、男性では「肥満」の割合が27.4%と3割近くを占めるのに対し、女性では「やせ」の割合が11.8%と1割以上を占める結果となっている。

性年齢別にみると、男性の30～70歳代で「肥満」の割合が多く、特に50歳代で4割以上を占めている。女性では、30歳代で「やせ」が2割以上を占め、70歳代では「肥満」が約3割を占めている。

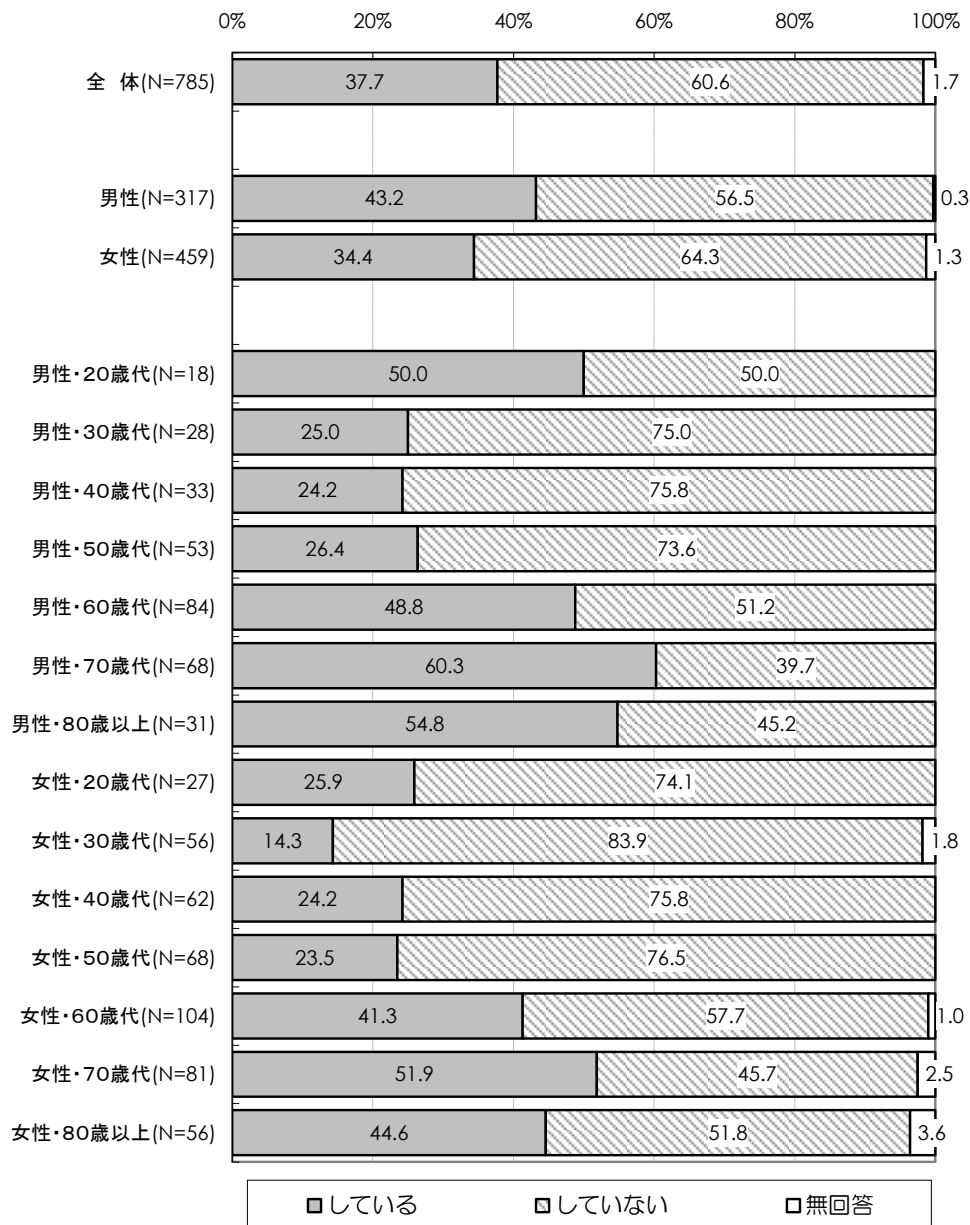


問9 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。
 (○は1つだけ)

運動については、「している」が37.7%、「していない」が60.6%となっており、約6割の人が日頃の運動をしていないという結果となっている。

性別で見ると、男性では「している」が43.2%と4割以上を占めているのに対し、女性では「していない」が64.3%と6割以上を占める結果となっている。

性年齢別にみると、男女ともに30～50歳代で「している」の割合が低くなっており、特に女性の30歳代では14.3%と、運動をしている人は2割未満となっている。

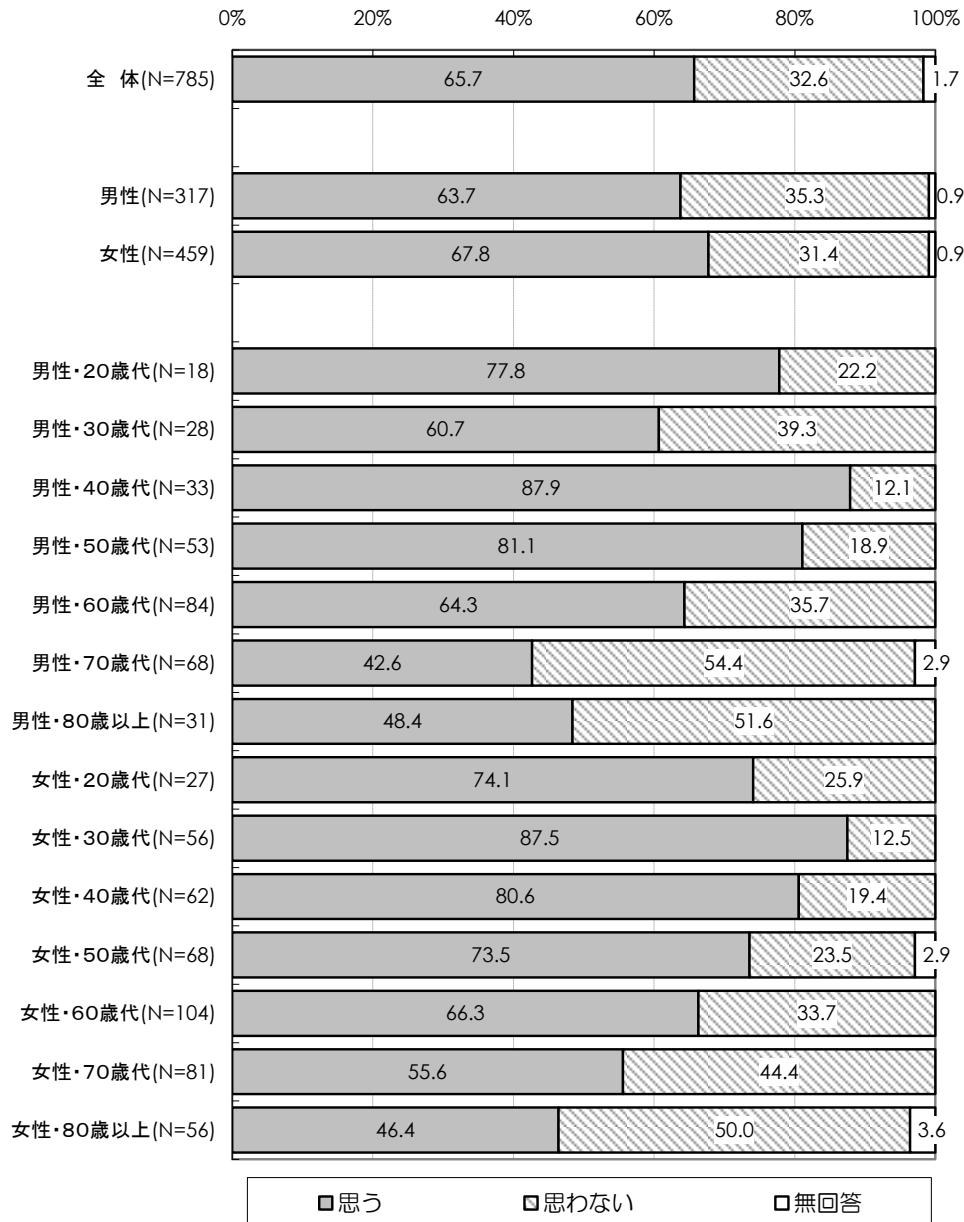


問 10 あなたは運動不足だと思いますか。

(○は1つだけ)

運動不足の認識については、「思う」が 65.7%、「思わない」が 32.6%となっており、6割以上の人が運動不足だと感じていることが分かる。

性別では回答割合に大きな違いは見受けられないが、性年齢別にみると、年齢が上がるほど「思わない」の割合が高くなっており、問9と比較すると、日頃運動をしていない年齢層での運動不足の認識が高い結果となっている。また、男性の30歳代では「思わない」が約4割を占め、問9と比較すると、日頃運動している人が少ない一方で、運動不足の認識はやや低い結果となっている。

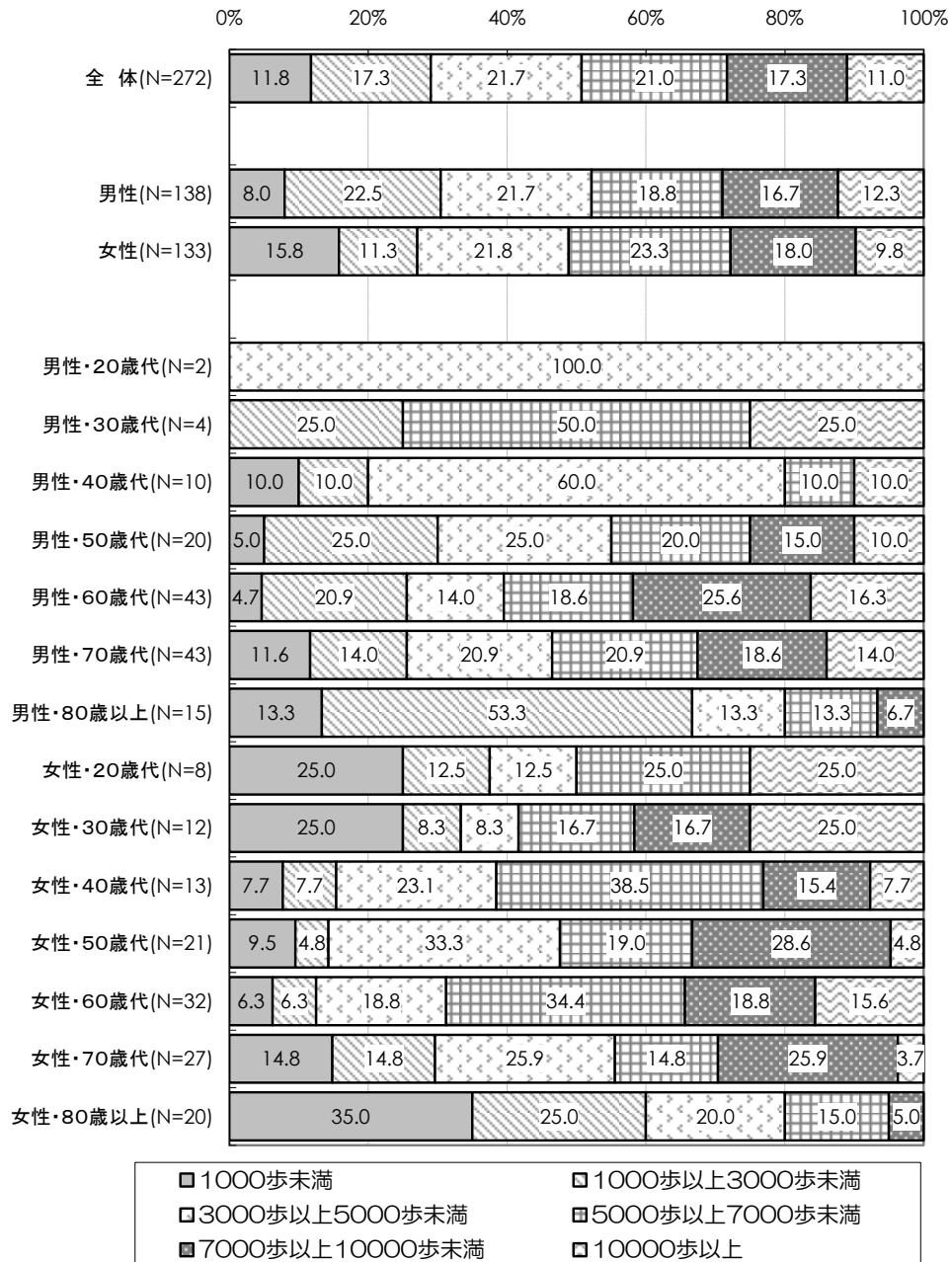


問 11 昨日 1 日の歩数をご記入ください。（分かる方のみ）

1 日の歩数については、「3,000～5,000 歩未満」が 21.7%で最も多く、次いで「5,000～7,000 歩未満」が 21.0%となっている。

性別では、3,000 歩以上歩いている人の割合は男性に比べると女性の方がやや多いものの、1,000 歩未満の割合も男性に比べると女性の方がやや多くなっている。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど歩数の少ない人が多くなっているものの、女性の 20～30 歳代でも 3,000 歩未満の人は 3 割近くを占める結果となっている。

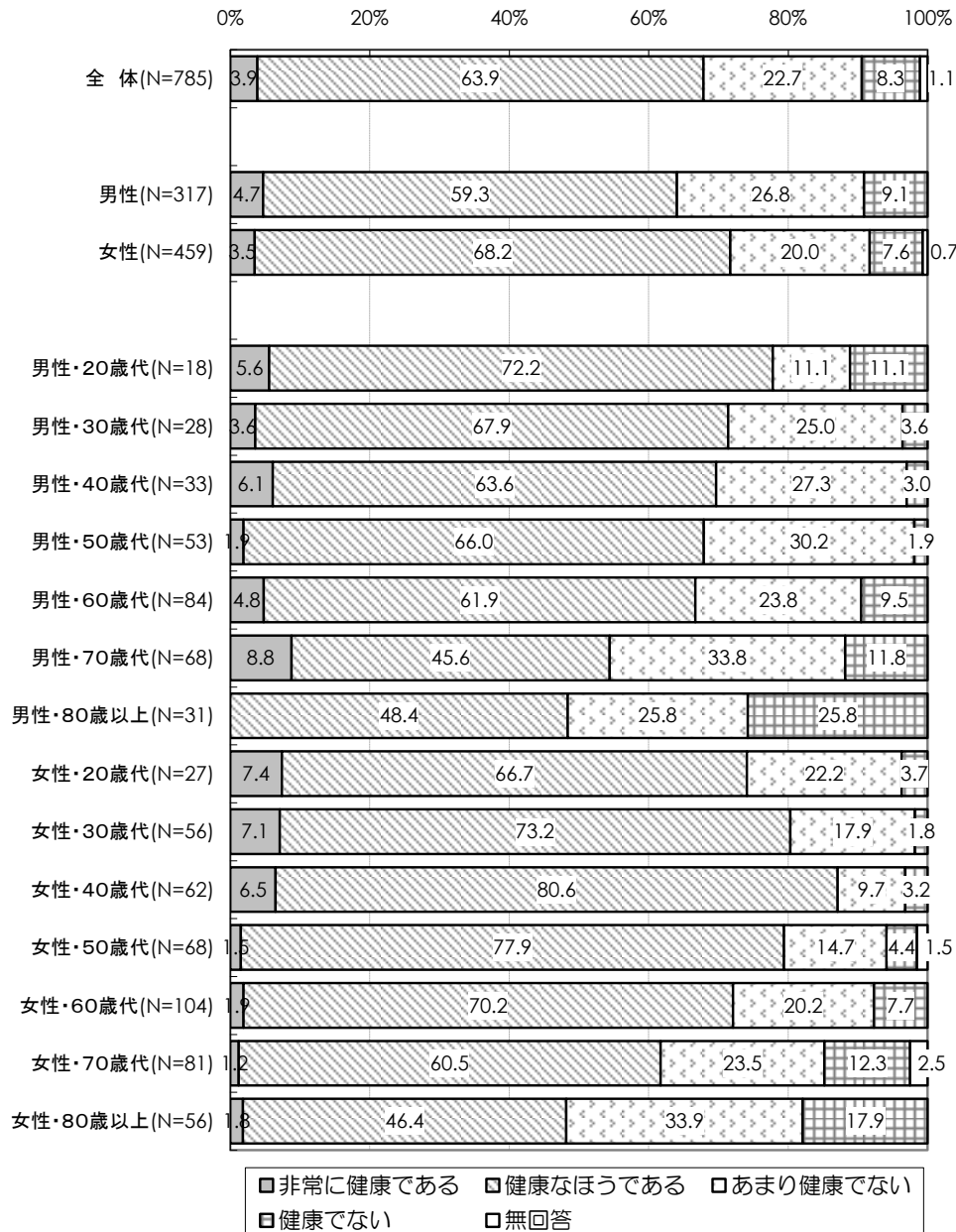


問 12 あなたは現在、健康だと思いますか。

(○は1つだけ)

健康感については、「健康なほうである」が63.9%と6割以上を占め、「非常に健康である」(3.9%)と合わせると67.8%の人が健康であると感じていることが分かる。一方で、「あまり健康でない」、「健康でない」と回答した人が3割以上を占める結果となっている。

性別では回答割合に大きな違いは見受けられないが、性年齢別にみると、年齢が上がるほど「あまり健康でない」、「健康でない」の割合が高くなっており、特に80歳以上では男女ともに半数以上を占める結果となっている。



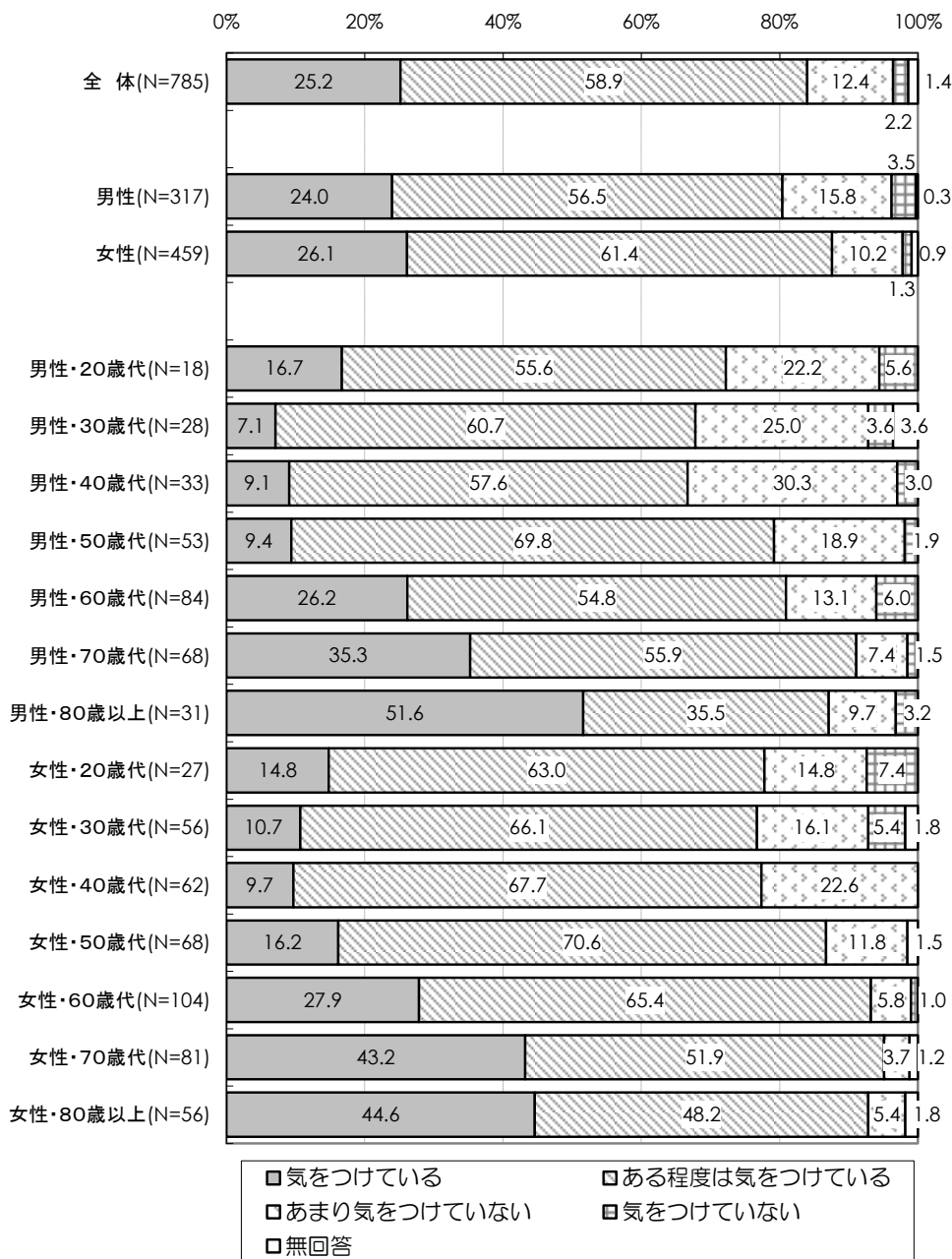
問 13 日頃、健康に気をつけていますか。

（○は1つだけ）

健康への気配りについては、「ある程度は気をつけている」が58.9%と6割近くを占め、「気をつけている」(25.2%)と合わせると8割以上の人が健康に気をつけていることが分かる。一方で、「あまり気をつけていない」、「気をつけていない」と回答した人が1割以上を占める結果となっている。

性別にみると、男性に比べて女性の方が、健康に気をつけている人が多いことが分かる。

性年齢別にみると、年齢が上がるほど健康に気をつけている人の割合が高くなっている。一方で、男性の20～40歳代では健康に気をつけていない人の割合が高く、3割程度を占める結果となっている。



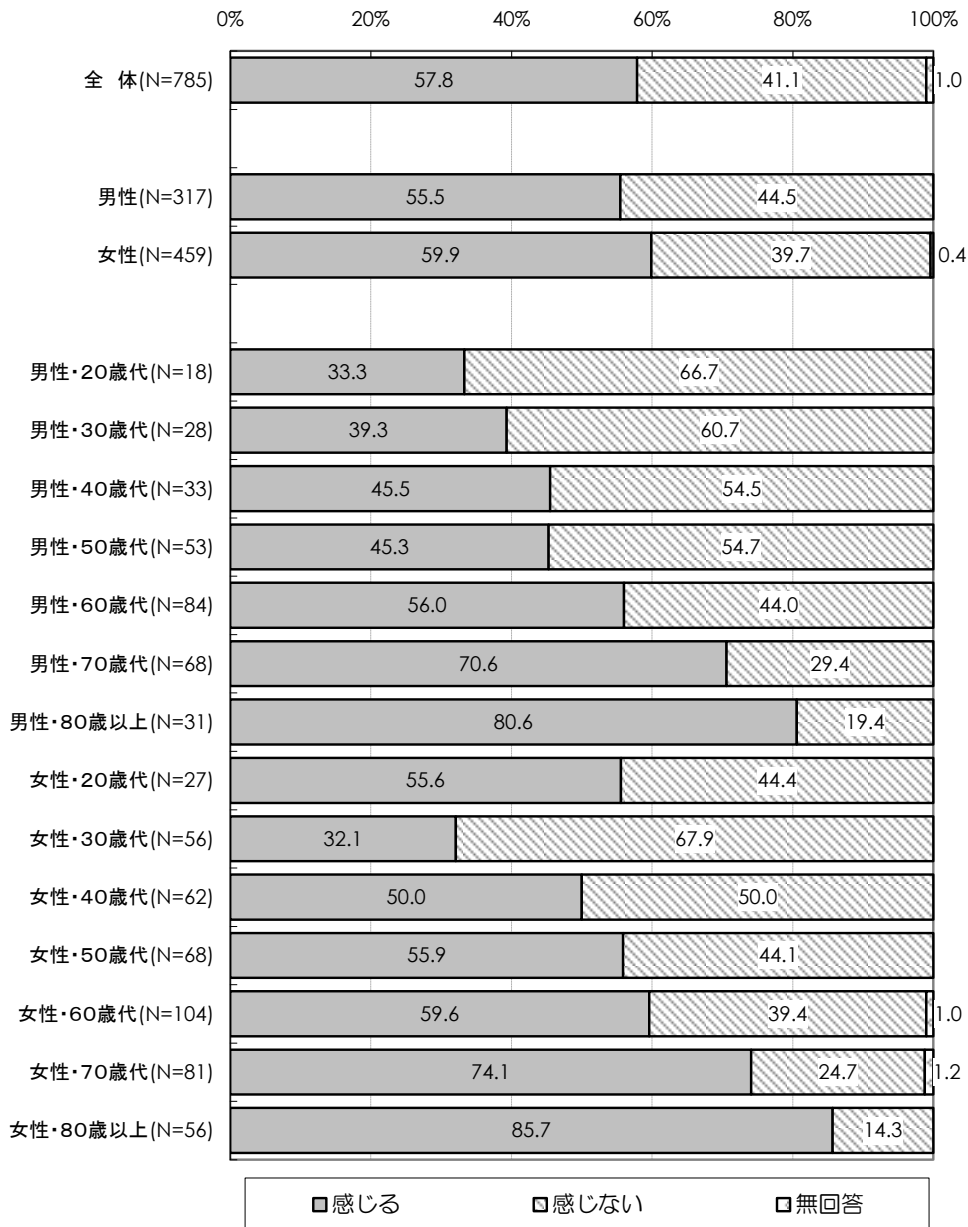
問 14 日頃、足腰に痛みを感じますか。

(○は1つだけ)

足腰の痛みについては、「感じる」が 57.8%、「感じない」が 41.1%となっており、6割近くの方が足腰の痛みを感じていることが分かる。

性別にみると、男性に比べて女性の方が、やや足腰の痛みを感じている人が多い結果となっている。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど足腰の痛みを感じている人の割合が高くなって一方で、女性の20歳代で足腰の痛みを感じている人の割合が高く、半数以上を占める結果となっている。

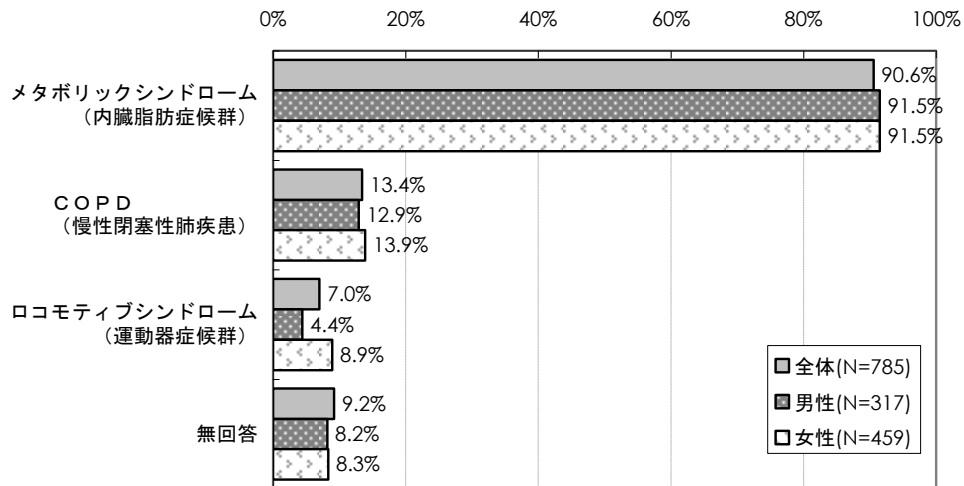


問 15 次の言葉を知っていますか。

（知っているものすべてに○）

健康に関する言葉の認知度については、「メタボリックシンドローム」が90.6%、「COPD」が13.4%、「ロコモティブシンドローム」が7.0%となっており、メタボリックシンドロームはほとんどの人が知っているのに対し、COPD、ロコモティブシンドロームの認知度はかなり低い結果となっている。

性別では回答割合に大きな違いは見受けられない。



■ 問 15 のクロス集計（性年齢別）

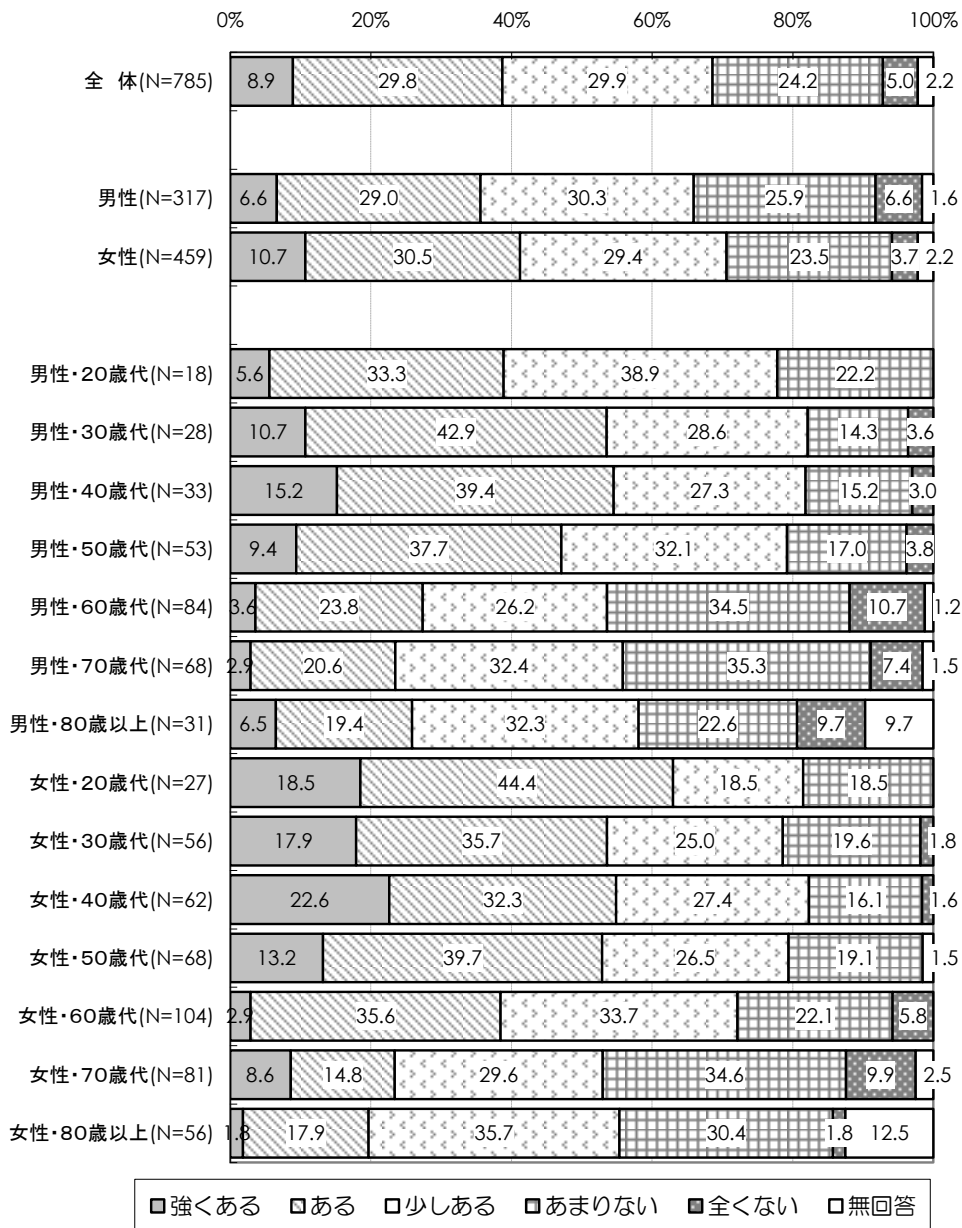
	メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)	COPD (慢性閉塞性肺疾患)	ロコモティブシンドローム (運動器症候群)	無回答
男性・20歳代(N=18)	94.4	33.3	11.1	5.6
男性・30歳代(N=28)	100.0	10.7	3.6	0.0
男性・40歳代(N=33)	97.0	18.2	6.1	3.0
男性・50歳代(N=53)	96.2	9.4	1.9	3.8
男性・60歳代(N=84)	96.4	10.7	3.6	3.6
男性・70歳代(N=68)	86.8	8.8	2.9	13.2
男性・80歳以上(N=31)	64.5	19.4	6.5	32.3
女性・20歳代(N=27)	100.0	18.5	11.1	0.0
女性・30歳代(N=56)	96.4	16.1	10.7	3.6
女性・40歳代(N=62)	96.8	16.1	6.5	3.2
女性・50歳代(N=68)	97.1	10.3	8.8	2.9
女性・60歳代(N=104)	96.2	12.5	9.6	3.8
女性・70歳代(N=81)	85.2	14.8	7.4	14.8
女性・80歳以上(N=56)	73.2	12.5	10.7	26.8

心の健康、休養について

問 16 この1か月の間に、悩みや疲れ、人間関係などのストレスを感じたことがありますか。
 (○は1つだけ)

1か月間のストレス状況については、「少しある」が29.9%と最も多く、次いで「ある」が29.8%となっており、「強くある」(8.9%)と合わせると7割近くの人がストレスを感じていることが分かる。

性別では回答割合に大きな違いは見受けられないが、性年齢別にみると、男女ともに20～50歳代でストレスを感じている人が多く、8割程度を占める結果となっている。



問 16で「強くある」、「ある」、「少しある」と回答した人のみ

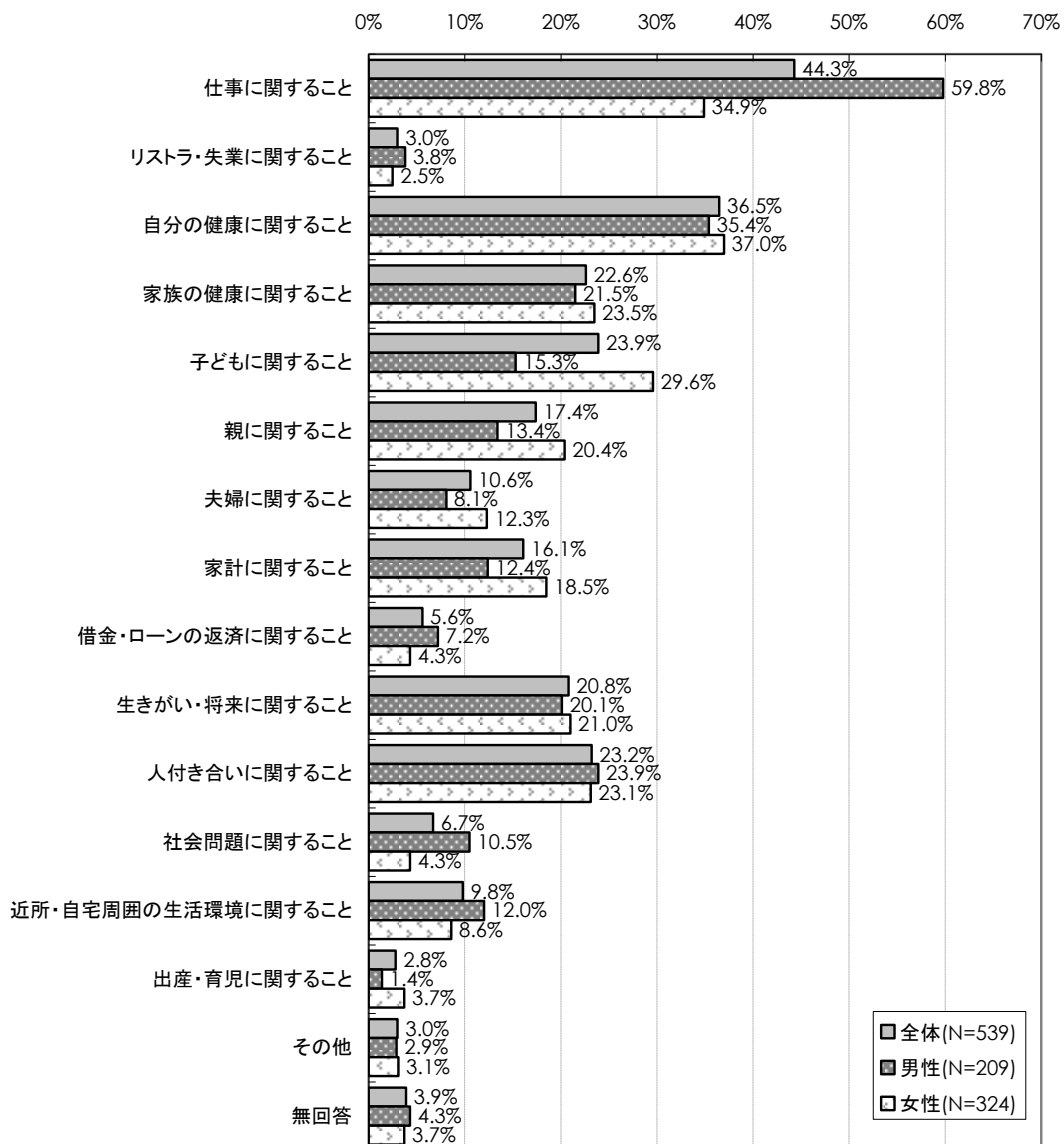
問 16-1 内容はどのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

ストレスの内容については、「仕事に関すること」が 44.3%と最も多く、次いで「自分の健康に関すること」が 36.5%、「子どもに関すること」が 23.9%、の順となっている。

性別にみると、男性では「仕事に関すること」が 59.8%と6割近くを占め、他の項目と比較しても突出して高い割合となっている。一方、女性では「自分の健康に関すること」が 37.0%と最も多く、次いで「仕事に関すること」が 34.9%、「子どもに関すること」が 29.6%の順となっている。

また、女性では「子どもに関すること」、「親に関すること」、「夫婦に関すること」、「家計に関すること」などで男性より高い割合となっており、家庭・家族内でのストレスが多いことが分かる。



■ 問 16- 1 のクロス集計（性年齢別）

	仕事に関すること	リストラ・失業に関すること	自分の健康に関すること	家族の健康に関すること	子どもに関すること	親に関すること	夫婦に関すること	家計に関すること
男性・20歳代(N=14)	85.7	7.1	21.4	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1
男性・30歳代(N=23)	95.7	0.0	26.1	8.7	8.7	21.7	17.4	26.1
男性・40歳代(N=27)	85.2	7.4	22.2	14.8	7.4	7.4	3.7	14.8
男性・50歳代(N=42)	81.0	7.1	31.0	19.0	16.7	31.0	9.5	14.3
男性・60歳代(N=45)	40.0	4.4	42.2	24.4	28.9	13.3	11.1	15.6
男性・70歳代(N=38)	31.6	0.0	42.1	28.9	13.2	0.0	2.6	5.3
男性・80歳以上(N=18)	16.7	0.0	55.6	38.9	11.1	0.0	11.1	0.0
女性・20歳代(N=22)	63.6	4.5	13.6	4.5	4.5	13.6	4.5	18.2
女性・30歳代(N=44)	50.0	2.3	31.8	4.5	40.9	15.9	9.1	29.5
女性・40歳代(N=51)	56.9	5.9	27.5	25.5	54.9	35.3	17.6	31.4
女性・50歳代(N=54)	51.9	5.6	31.5	22.2	37.0	38.9	16.7	27.8
女性・60歳代(N=75)	18.7	0.0	36.0	37.3	29.3	18.7	14.7	10.7
女性・70歳代(N=43)	9.3	0.0	51.2	34.9	9.3	4.7	14.0	4.7
女性・80歳以上(N=31)	3.2	0.0	71.0	16.1	9.7	0.0	0.0	6.5

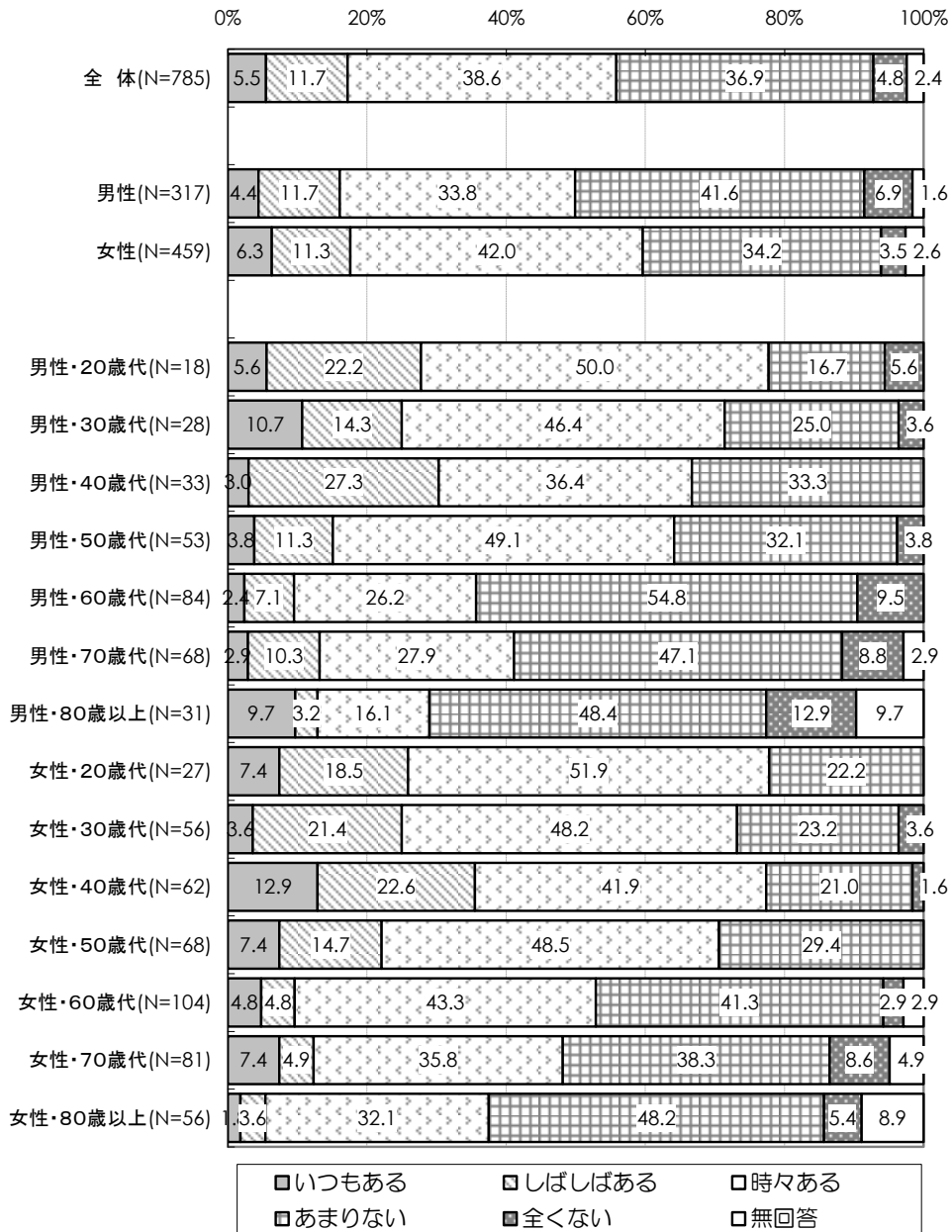
	借金・ローンの返済に関すること	生きがい・将来に関すること	人付き合いに関すること	社会問題に関すること	近所・自宅周囲の生活環境に関すること	出産・育児に関すること	その他	無回答
男性・20歳代(N=14)	14.3	35.7	28.6	14.3	21.4	0.0	7.1	0.0
男性・30歳代(N=23)	13.0	17.4	30.4	13.0	8.7	8.7	0.0	0.0
男性・40歳代(N=27)	3.7	25.9	48.1	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0
男性・50歳代(N=42)	4.8	16.7	21.4	11.9	11.9	0.0	2.4	2.4
男性・60歳代(N=45)	11.1	24.4	15.6	20.0	15.6	0.0	2.2	6.7
男性・70歳代(N=38)	5.3	15.8	21.1	2.6	13.2	0.0	5.3	5.3
男性・80歳以上(N=18)	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6	16.7
女性・20歳代(N=22)	9.1	36.4	45.5	4.5	4.5	9.1	4.5	0.0
女性・30歳代(N=44)	2.3	20.5	36.4	4.5	4.5	20.5	4.5	0.0
女性・40歳代(N=51)	7.8	15.7	25.5	2.0	11.8	2.0	3.9	0.0
女性・50歳代(N=54)	5.6	22.2	25.9	7.4	5.6	0.0	0.0	3.7
女性・60歳代(N=75)	2.7	22.7	14.7	5.3	12.0	0.0	2.7	9.3
女性・70歳代(N=43)	4.7	16.3	9.3	2.3	11.6	0.0	4.7	2.3
女性・80歳以上(N=31)	0.0	19.4	22.6	3.2	6.5	0.0	0.0	6.5

問 17 仕事や日常生活の中で、精神的にくたくたになることがありますか。（○は1つだけ）

仕事や日常生活の中での精神的な疲れについては、「時々ある」が38.6%と最も多く、次いで「あまりない」が36.9%となっているものの、「いつもある」(5.5%)、「しばしばある」(11.7%)を合わせると、半数以上の人精神的な疲れを感じていることが分かる。

性別にみると、男性に比べて女性の方が精神的な疲れを感じている人が多い結果となっている。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど精神的な疲れを感じている人が多くなっており、特に男性の20歳代、女性の20～40歳代で8割近くを占める結果となっている。



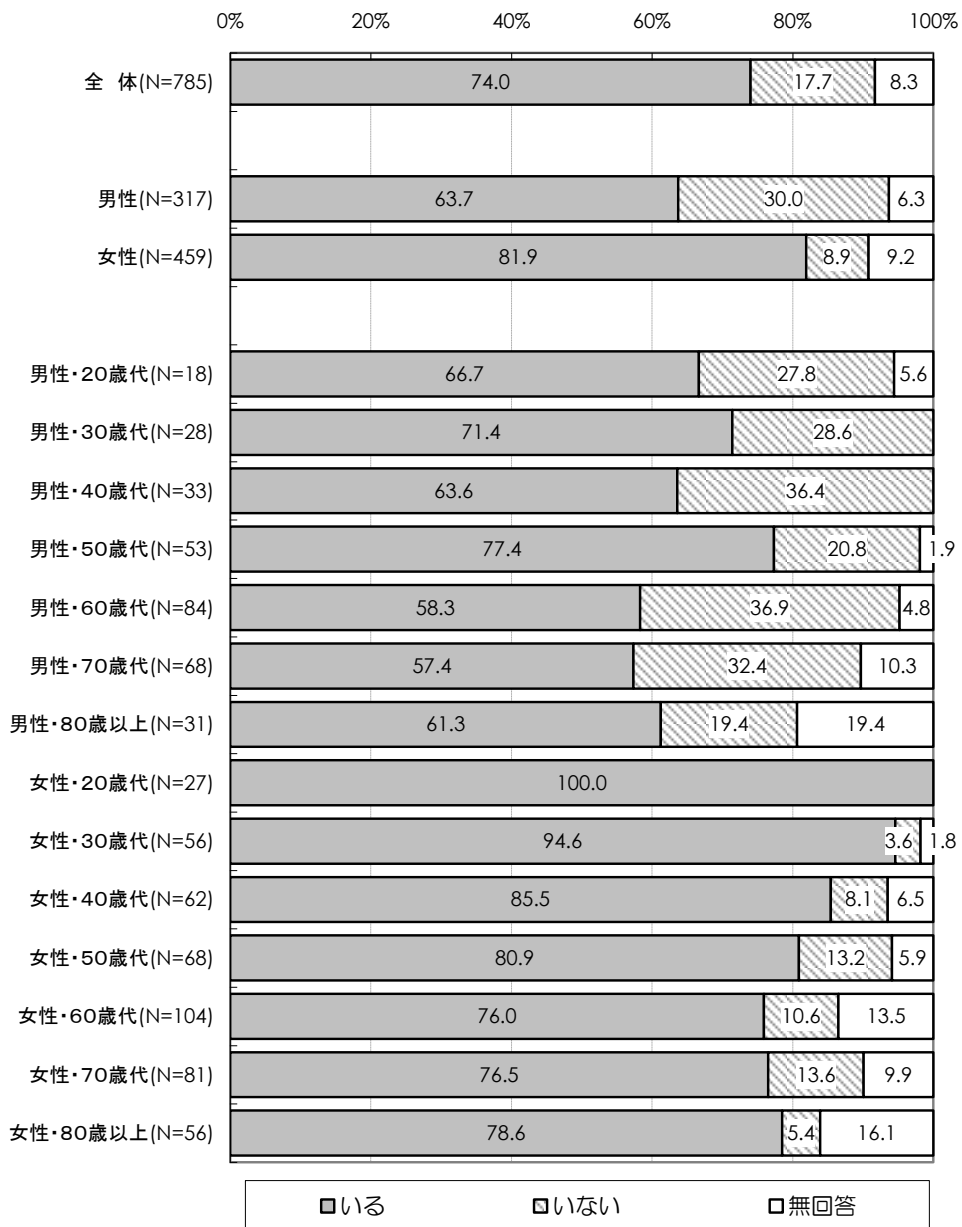
問 18 悩みなどがあれば、相談できる人はいますか。

(○は1つだけ)

悩みなどの相談相手の有無については、「いる」が74.0%と大半を占めているものの、「いない」が17.7%と2割近くを占める結果となっている。

性別にみると、女性に比べて男性の方が悩みを相談できる人が「いない」と回答した人が多く、約3割を占めている。

性年齢別にみると、男性ではどの年齢層においても「いない」と回答した人が多く3割程度を占めており、女性でも50～70歳代では1割以上を占める結果となっている。



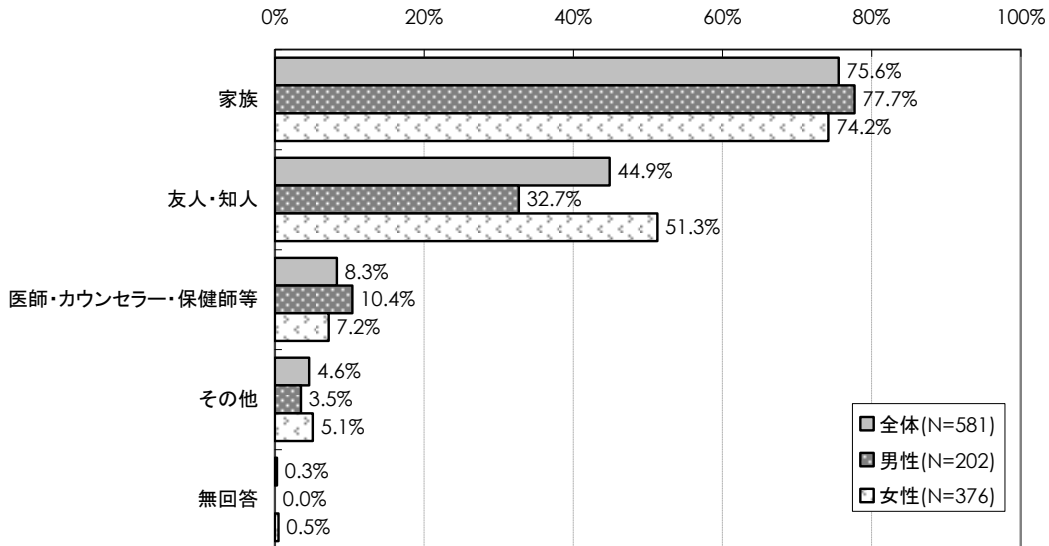
問 18で「いる」と回答した人のみ

問 18-1 主に誰に相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

主な相談相手については、「家族」が75.6%と最も多く、次いで「友人・知人」が44.9%となっており、家族や友人などの近い人に相談する人が多いことが分かる。

性別にみると、女性では男性に比べて「友人・知人」の割合が高くなっている。



■ 問 18-1 のクロス集計（性年齢別）

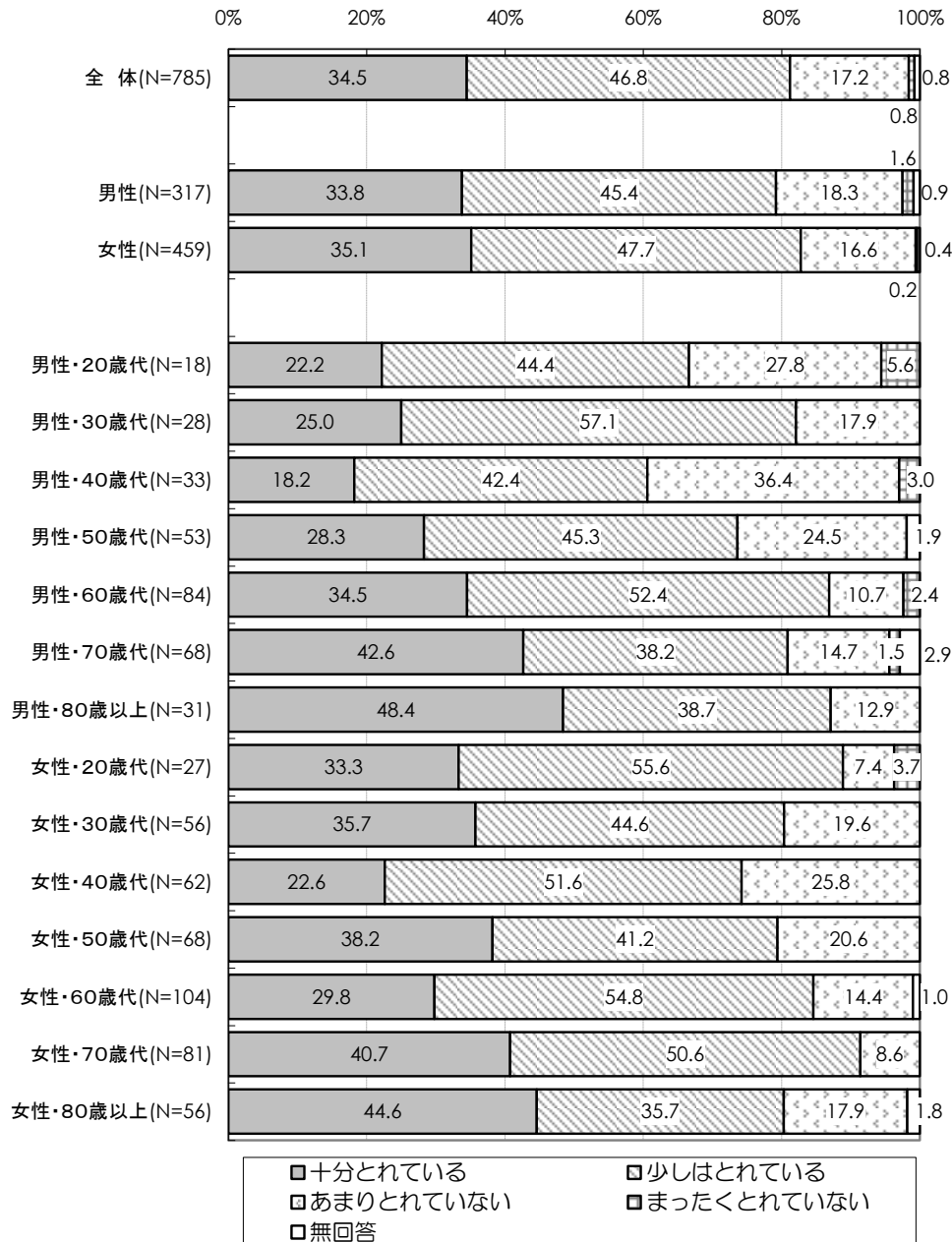
	家族	友人・知人	医師・カウンセラー・保健師等	その他	無回答
男性・20歳代(N=18)	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
男性・30歳代(N=28)	85.0	60.0	0.0	5.0	0.0
男性・40歳代(N=33)	66.7	57.1	9.5	4.8	0.0
男性・50歳代(N=53)	70.7	43.9	2.4	0.0	0.0
男性・60歳代(N=84)	79.6	22.4	8.2	6.1	0.0
男性・70歳代(N=68)	82.1	15.4	25.6	5.1	0.0
男性・80歳以上(N=31)	84.2	5.3	21.1	0.0	0.0
女性・20歳代(N=27)	59.3	77.8	7.4	11.1	0.0
女性・30歳代(N=56)	84.9	62.3	3.8	1.9	0.0
女性・40歳代(N=62)	83.0	66.0	5.7	0.0	0.0
女性・50歳代(N=68)	70.9	52.7	7.3	7.3	0.0
女性・60歳代(N=104)	65.8	51.9	8.9	7.6	0.0
女性・70歳代(N=81)	74.2	38.7	9.7	3.2	0.0
女性・80歳以上(N=56)	77.3	20.5	6.8	6.8	4.5

問 19 睡眠によって、十分な休養がとれていると思いますか。

(○は1つだけ)

睡眠による十分な休養については、「少しはとれている」が46.8%と最も多く、「十分とれている」(34.5%)と合わせると、8割以上の方が睡眠による休養がとれていることが分かる。

性別では回答割合に大きな違いは見受けられないが、性年齢別にみると、年齢が上がるほど「十分とれている」、「少しはとれている」の割合がやや高くなっている。一方で、男女ともに40歳代で「あまりとれていない」と回答した人が多く、「まったくとれていない」と合わせると、特に男性では約4割を占める結果となっている。



お酒、たばこについて

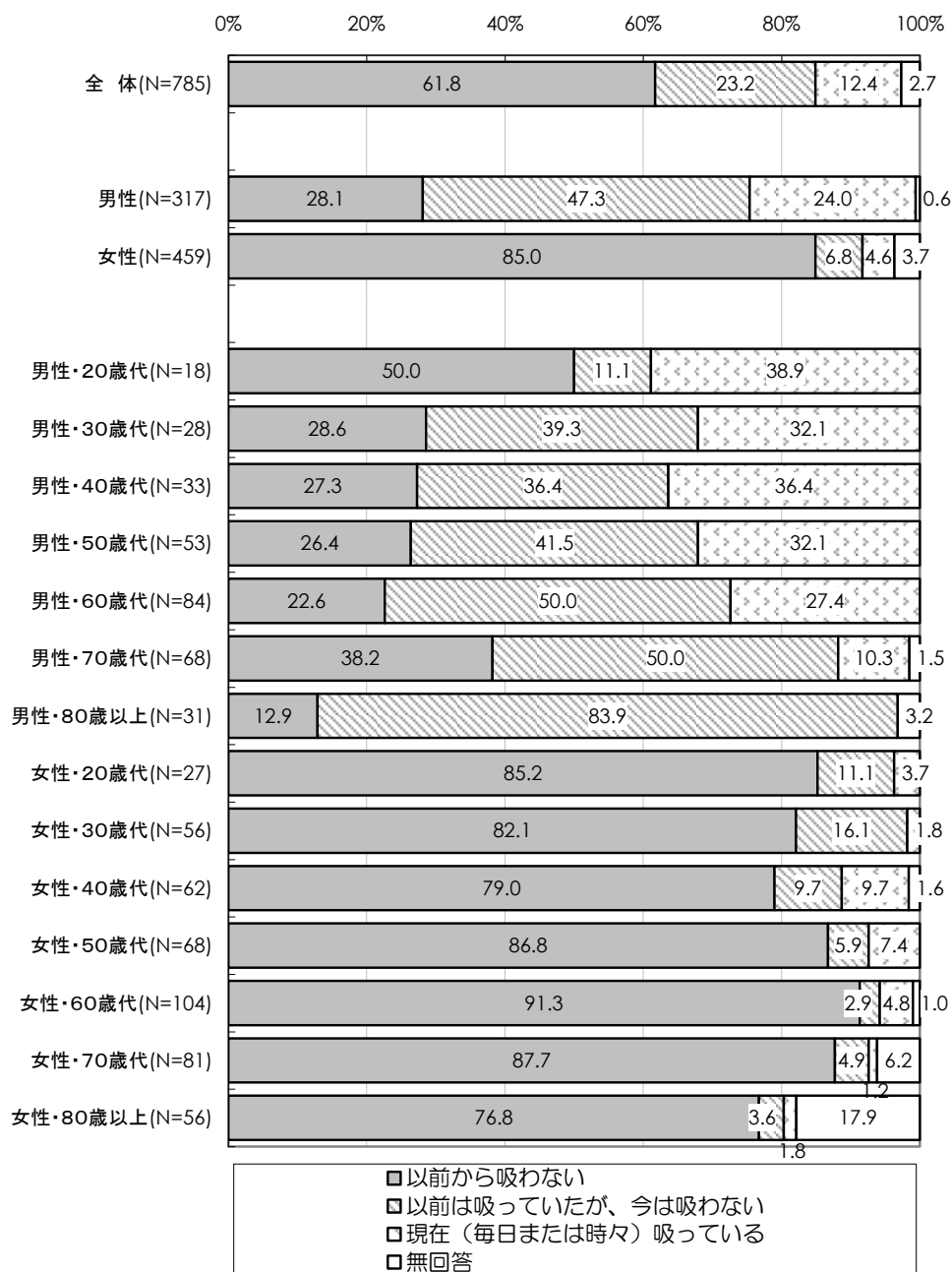
問 20 たばこを吸いますか。

（○は1つだけ）

喫煙状況については、「以前から吸わない」が61.8%と最も多く、「以前は吸っていたが、今は吸わない」（23.2%）と合わせると、たばこを吸わない人が8割以上を占め、喫煙率は1割程度となっている。

性別にみると、男性では喫煙率が24.0%と2割以上を占め、女性と比べると高い喫煙率となっている。

性年齢別にみると、女性ではすべての年齢層において喫煙率が1割未満となっているのに対し、男性では年齢が下がるほど喫煙率が高く、特に20歳代では4割近い喫煙率となっている。



問 20 で「現在（毎日または時々）吸っている」と回答した人のみ

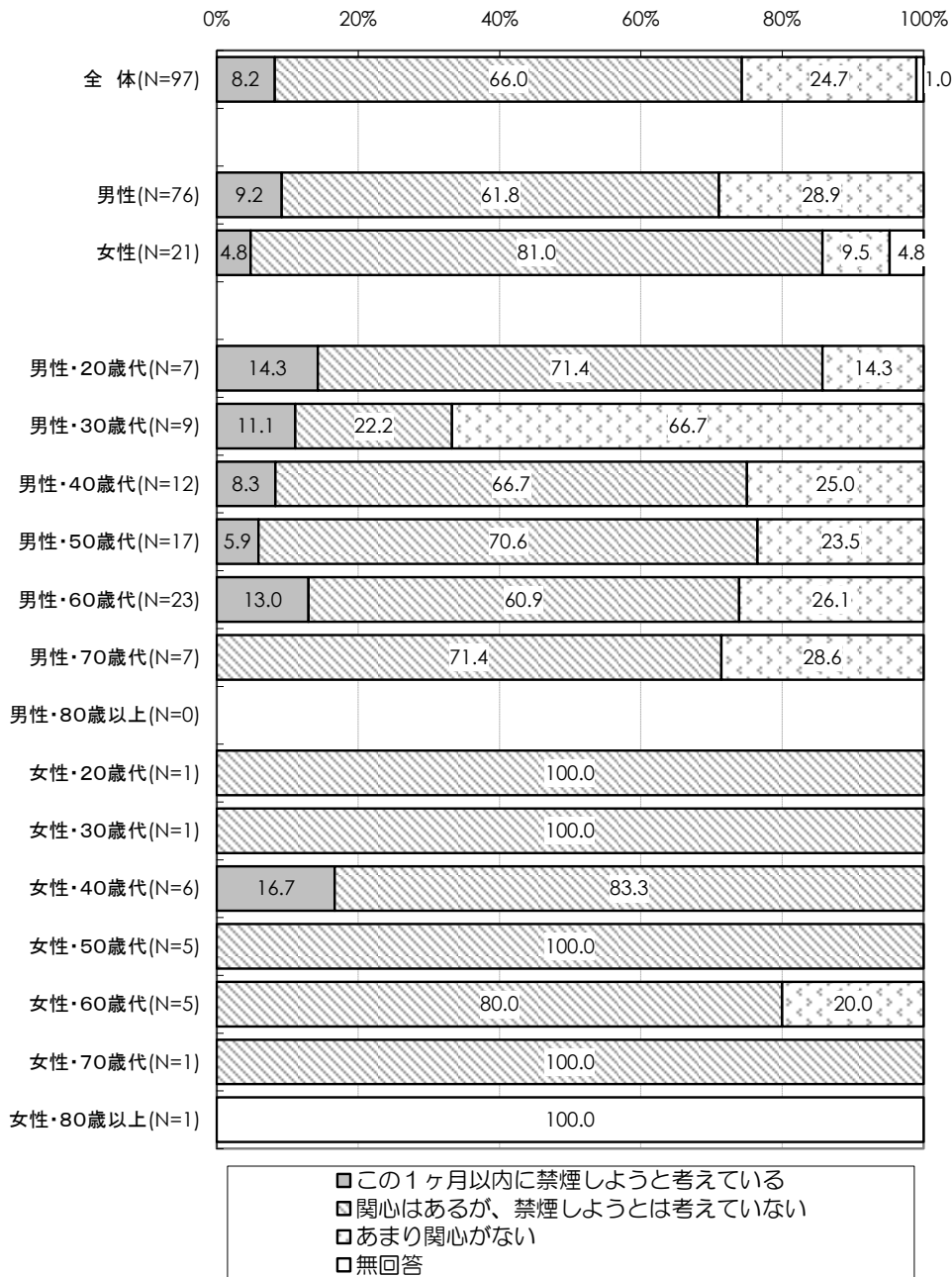
問 20-1 禁煙について、どれくらい関心がありますか。

(○は1つだけ)

禁煙への関心度については、「関心はあるが、禁煙しようとは考えていない」が 66.0%と大半を占め、「あまり関心がない」(24.7%) と合わせると、9 割以上の人が禁煙への意向は無いことが分かる。

性別にみると、女性では男性に比べて関心が高いものの、「この1ヶ月以内に禁煙しようと考えている」と回答した人の割合は、男性の方が女性に比べてやや高い割合となっている。

性年齢別にみると、女性ではすべての年齢層において関心が高いのに対し、男性ではすべての年齢層で「あまり関心がない」の回答があり、特に 30 歳代で 66.7%と大半を占める結果となっている。

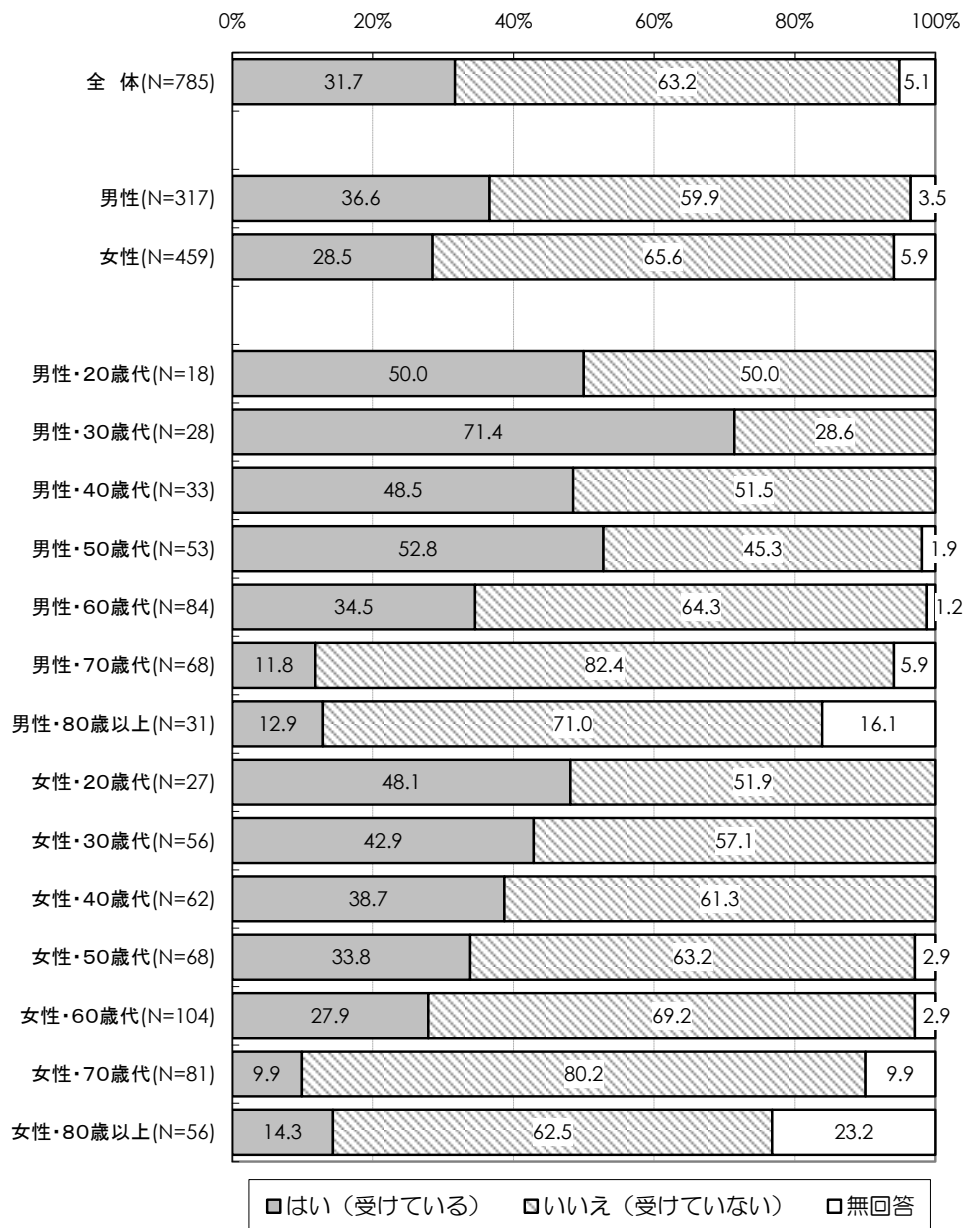


問 21 あなたは受動喫煙（たばこを吸っている人の煙を吸うこと）を受けていますか。
 （○は1つだけ）

受動喫煙状況については、「いいえ（受けていない）」が 63.2%と大半を占めているものの、「はい（受けている）」が 31.7%と、3割以上の受動喫煙率となっている。

性別にみると、男性では受動喫煙率が 36.6%と 3割以上を占め、女性と比べるとやや高い受動喫煙率となっている。

性年齢別にみると、年齢が下がるほど受動喫煙率が高く、特に男性の 30 歳代で 71.4%と 7割以上を占める結果となっている。



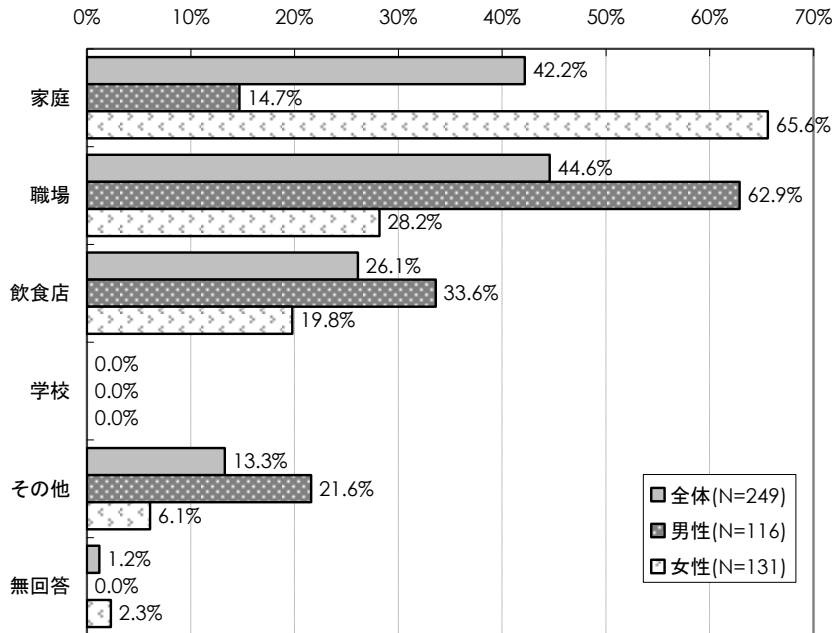
問 21 で「はい (受けている)」と回答した人のみ

問 21-1 どんな場所で受動喫煙を受けていますか。

(あてはまるものすべてに○)

受動喫煙場所については、「職場」が 44.6%と最も多く、次いで「家庭」が 42.2%、「飲食店」が 26.1%の順となっている。

性別にみると、女性では「家庭」の割合が突出して高く、男性では「職場」の割合が突出して高くなっている。



■ 問 21-1 のクロス集計 (性年齢別)

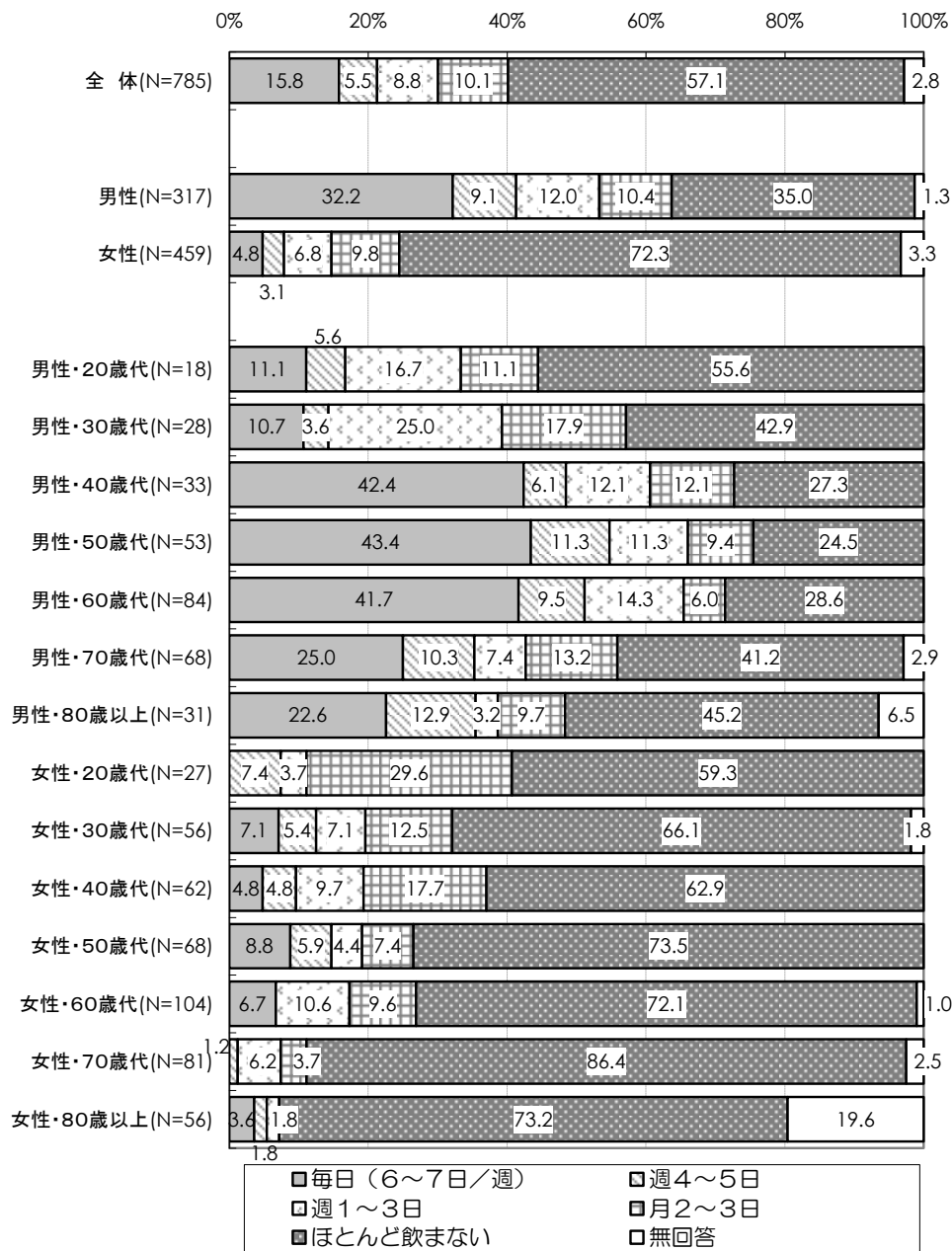
	家庭	職場	飲食店	学校	その他	無回答
男性・20歳代(N=18)	11.1	77.8	33.3	0.0	33.3	0.0
男性・30歳代(N=28)	15.0	90.0	35.0	0.0	5.0	0.0
男性・40歳代(N=33)	12.5	62.5	50.0	0.0	12.5	0.0
男性・50歳代(N=53)	17.9	71.4	21.4	0.0	28.6	0.0
男性・60歳代(N=84)	13.8	51.7	24.1	0.0	24.1	0.0
男性・70歳代(N=68)	25.0	25.0	62.5	0.0	12.5	0.0
男性・80歳以上(N=31)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
女性・20歳代(N=27)	53.8	30.8	46.2	0.0	7.7	0.0
女性・30歳代(N=56)	70.8	41.7	16.7	0.0	8.3	0.0
女性・40歳代(N=62)	50.0	50.0	20.8	0.0	0.0	0.0
女性・50歳代(N=68)	65.2	30.4	21.7	0.0	4.3	0.0
女性・60歳代(N=104)	72.4	6.9	17.2	0.0	10.3	3.4
女性・70歳代(N=81)	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
女性・80歳以上(N=56)	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5

問 22 あなたは、お酒（清酒・焼酎・ビール・洋酒など）を、どのくらいの頻度で飲みますか。
（○は1つだけ）

飲酒状況については、「ほとんど飲まない」が 57.1%と最も多く、飲酒率は4割程度となっている。一方で、「毎日（6～7日/週）」が 15.8%と1割以上を占める結果となっている。

性別にみると、男性では飲酒率が6割以上を占め、特に「毎日（6～7日/週）」が3割以上を占める結果となっている。

性年齢別にみると、男性の40～60歳代で「毎日（6～7日/週）」が4割以上を占め、「週4～5日」、「週1～3日」を合わせると、6割以上の人が週1日以上の飲酒をしていることが分かる。



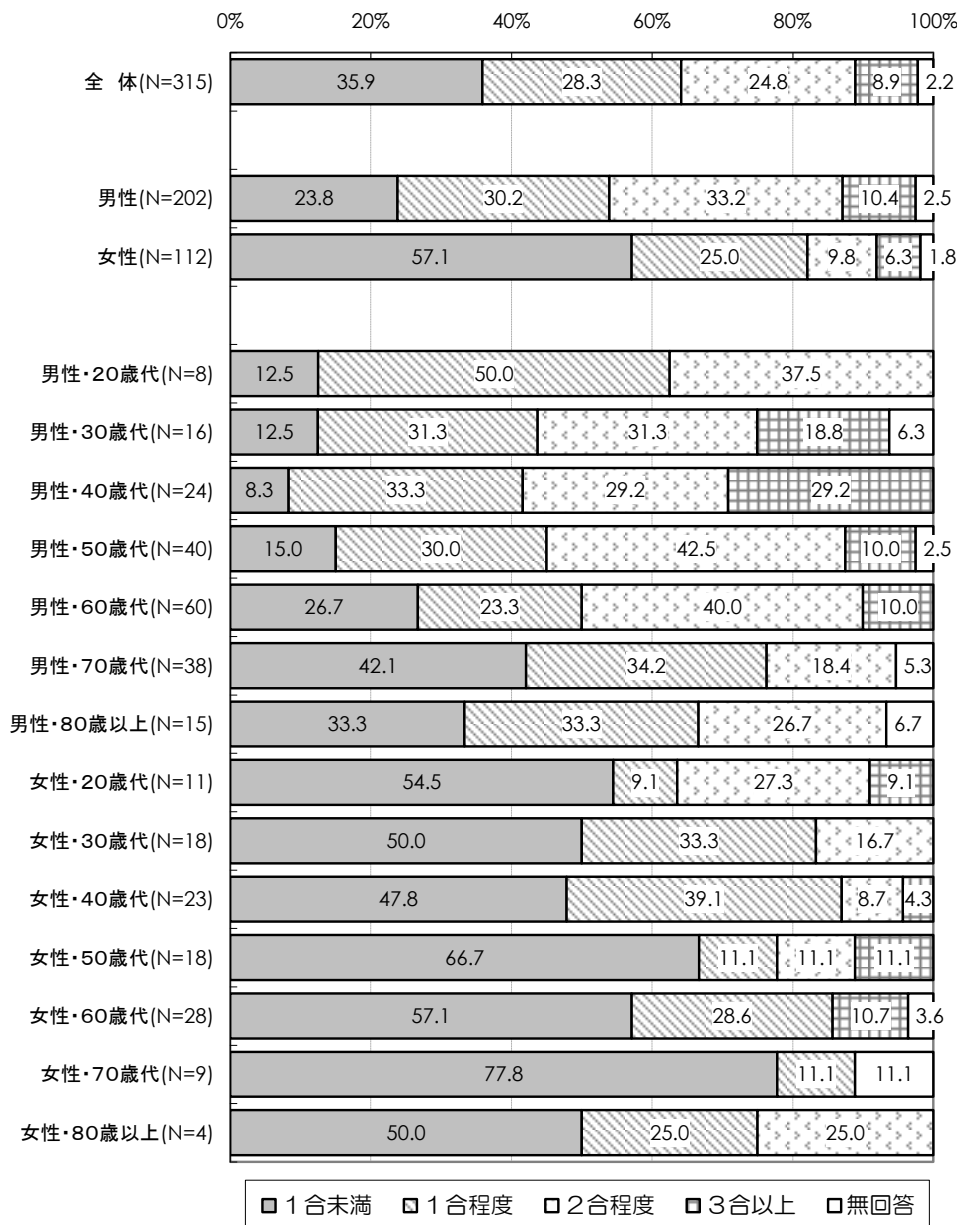
問 22 で「ほとんど飲まない」と回答した人以外（無回答も除く）

問 22-1 お酒を飲む日は、1日あたりどれくらいの量を飲みますか。 (○は1つだけ)

飲酒量については、「1合未満」が35.9%と最も多く、次いで「1合程度」が28.3%、「2合程度」が24.8%の順となっている。

性別にみると、男性では女性に比べて飲酒量が多く、1合以上の飲酒をしている人が7割以上を占めている。

性年齢別にみると、女性ではすべての年齢層において「1合未満」の割合が最も高いのに対し、男性では年齢が下がるほど飲酒量が多く、特に20～50歳代で1合以上の飲酒をしている人が8割以上を占める結果となっている。



歯 に つ い て

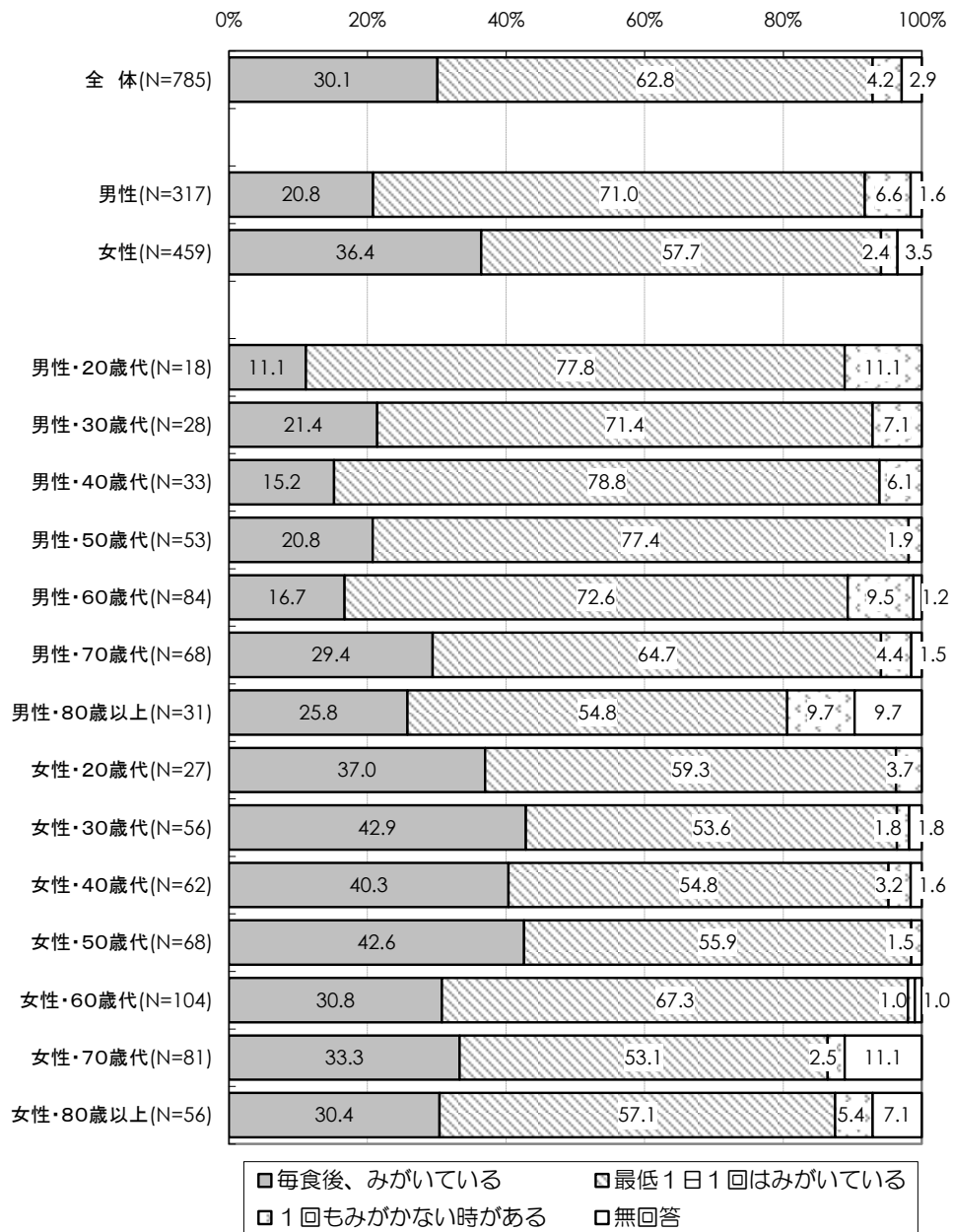
問 23 1日に何回歯をみがきますか。

（○は1つだけ）

1日の歯みがき回数については、「最低1日1回はみがいている」が62.8%と最も多く、「毎食後、みがいている」は3割程度となっている。

性別にみると、女性では男性に比べて毎食後の歯みがき率が高く、3割以上を占める結果となっている。また、男性では「1回もみがかない時がある」が6.6%と、女性に比べてやや高い割合となっている。

性年齢別にみると、女性ではすべての年齢層において毎食後みがいている人が3割以上を占めているのに対し、男性では年齢が下がるほど歯みがきをしている人の割合が少なくなっており、特に20歳代では「1回もみがかない時がある」が1割以上を占める結果となっている。



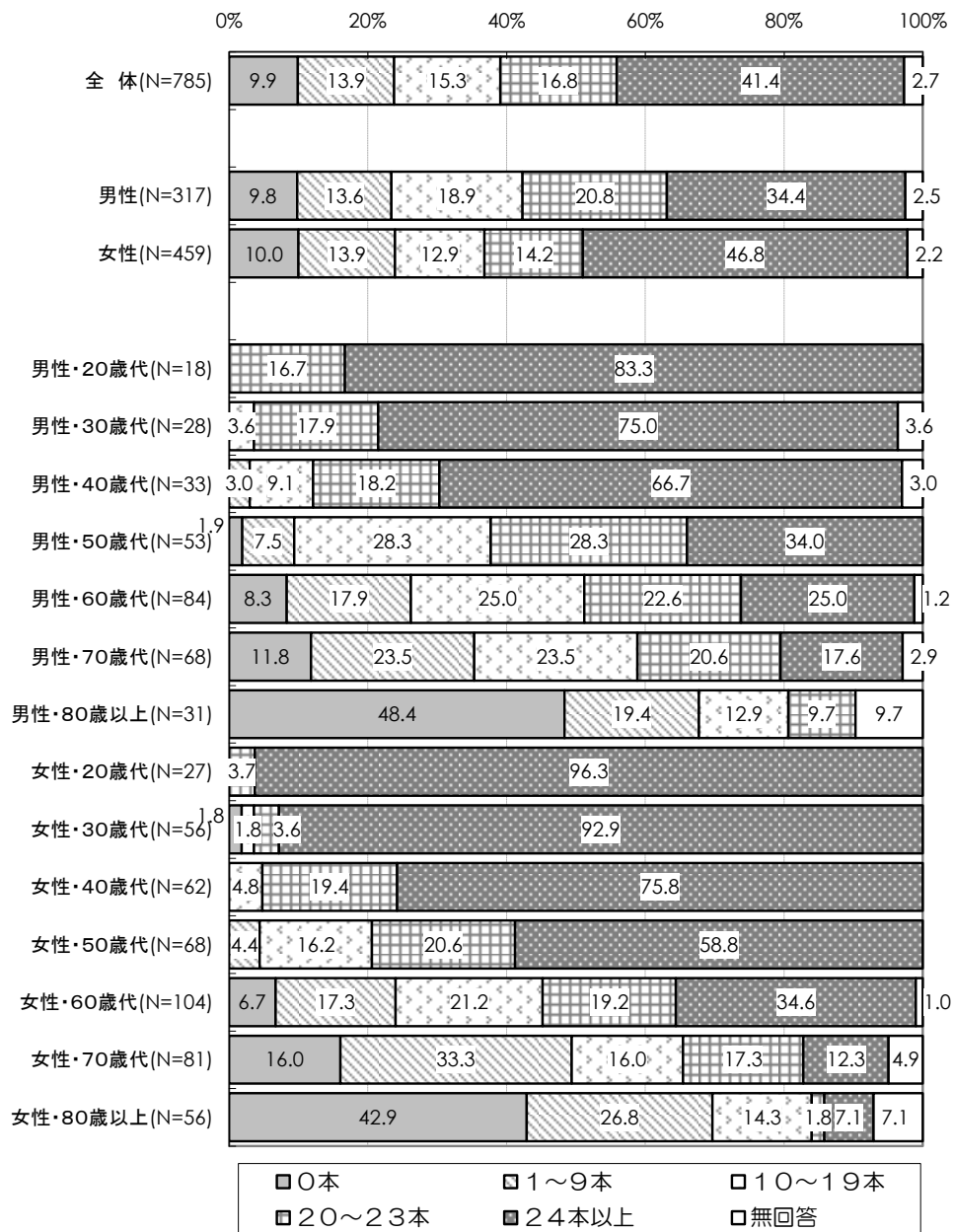
問 24 自分の歯は何本ありますか。

(○は1つだけ)

歯の本数については、「24 本以上」が 41.4%と最も多く、「20～23 本」(16.8%) と合わせると、半数以上の人 が 20 本以上の自分の歯を持っていることが分かる。

性別にみると、女性では男性に比べて歯の保持率が高く、4 割以上の人 が 24 本以上の歯を持っていることが分かる。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど歯の本数は少なくなっており、80 歳以上では「0 本」が 4 割以上を占める結果となっている。また、20 本以上の歯を持つ 80 歳以上の高齢者は、男女ともに 1 割未満となっている。



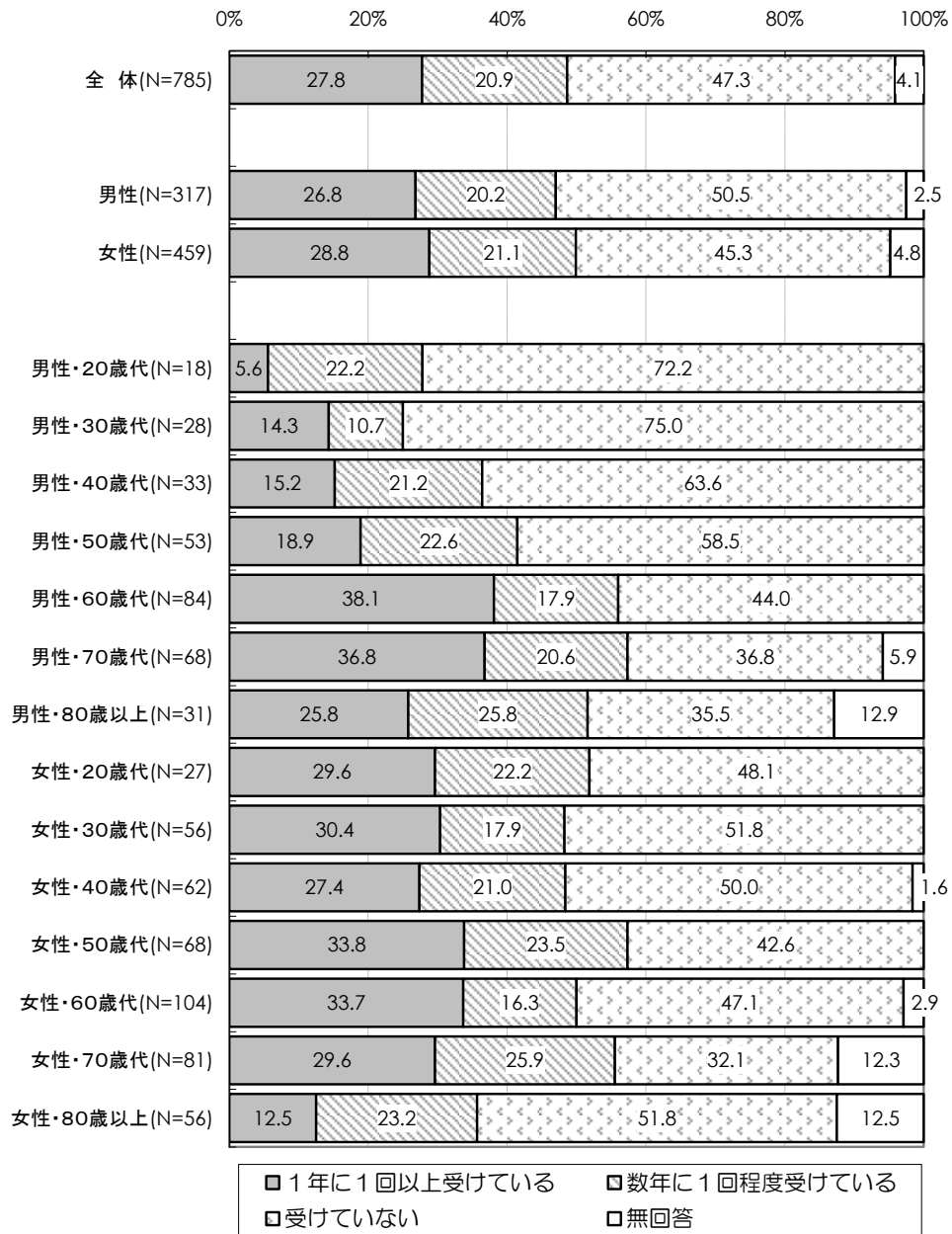
問 25 定期的に歯科健診を受けていますか。

（○は1つだけ）

定期的な歯科健診の受診については、「受けていない」が 47.3%となっており、受診率は半数未満となっている。

性別にみると、女性では男性に比べてやや定期的な受診率が高くなっている。

性年齢別にみると、女性では、すべての年齢層において受診率が半数程度となっているのに対し、男性では年齢が下がるほど受診率が下がっており、特に 20～30 歳代では 3 割未満となっている。



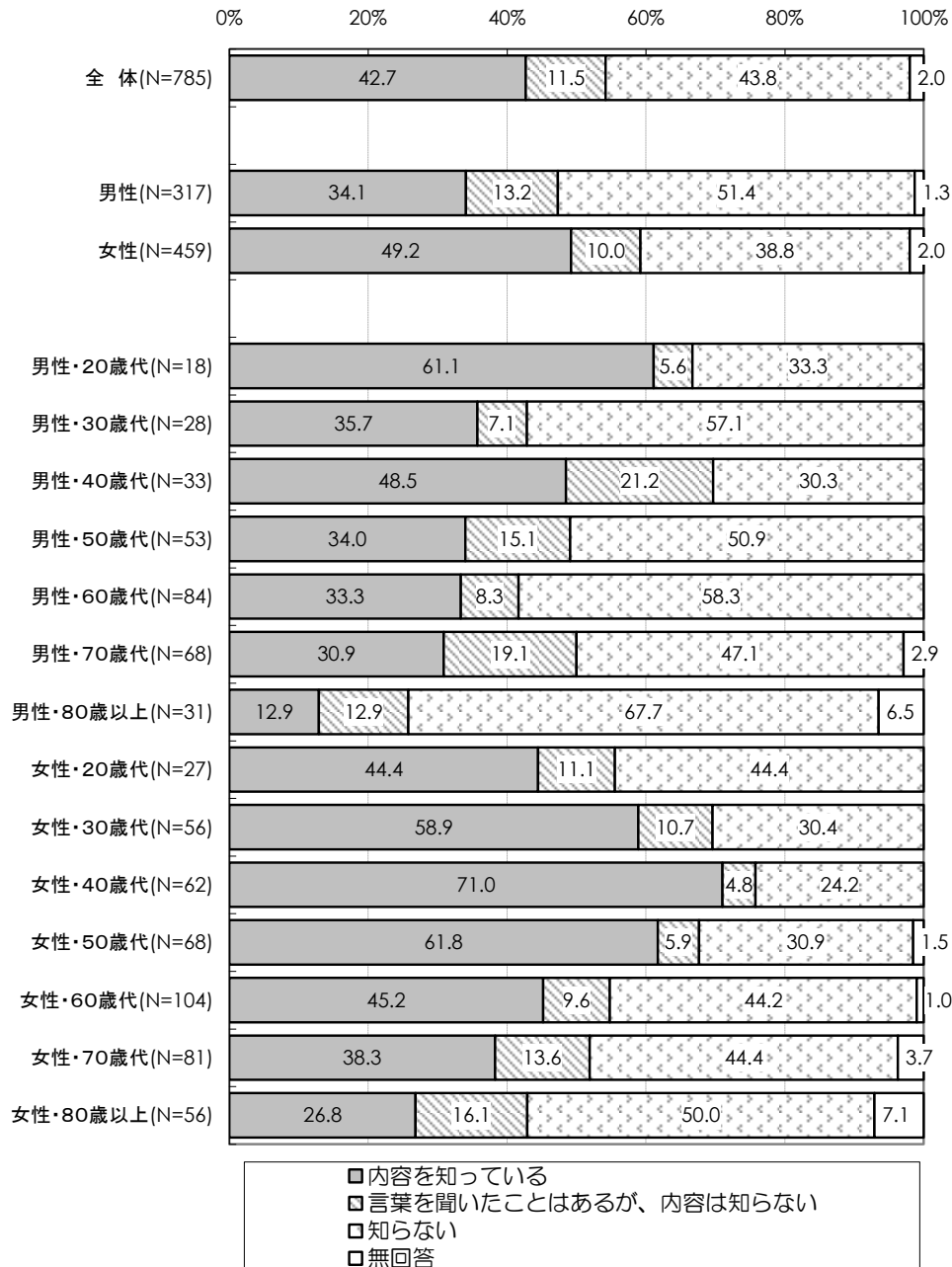
問 26 あなたは「8020運動」を知っていますか。

(○は1つだけ)

“8020運動”の認知度については、「知らない」が43.8%と最も多く、「内容を知っている」は42.7%と認知度は4割程度となっている。

性別にみると、女性では男性に比べてやや認知度が高く、約半数の人が内容を知っていることが分かる。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど認知度が低く、特に男性の80歳代では1割程度の認知度となっている。



健康診査などについて

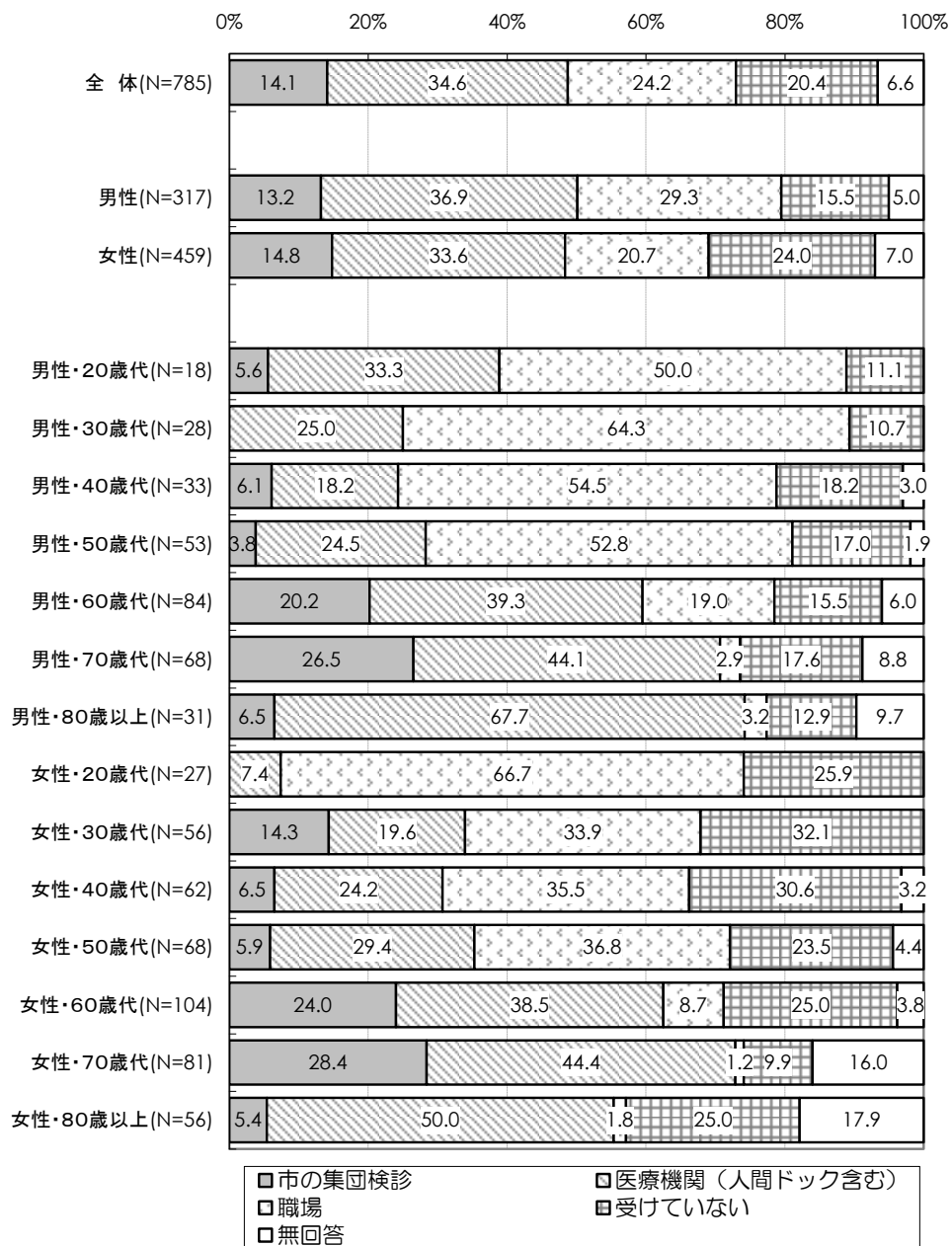
問 27 この1年間の健康診査等の受診状況についておたずねします。（それぞれ〇は1つずつ）

① 特定健診又は健康診査（検尿・血圧・胸囲・血液・身体計測・診察）

特定健診・健康診査の受診状況については、受診率は7割以上を占めているものの、「受けていない」が20.4%と約2割を占める結果となっている。

性別にみると、女性では男性に比べて受診率がやや低く、2割以上の人を受けていないことが分かる。

性年齢別にみると、女性ではほとんどの年齢層において「受けていない」が2割以上を占め、特に30～40歳代で3割以上を占める結果となっている。

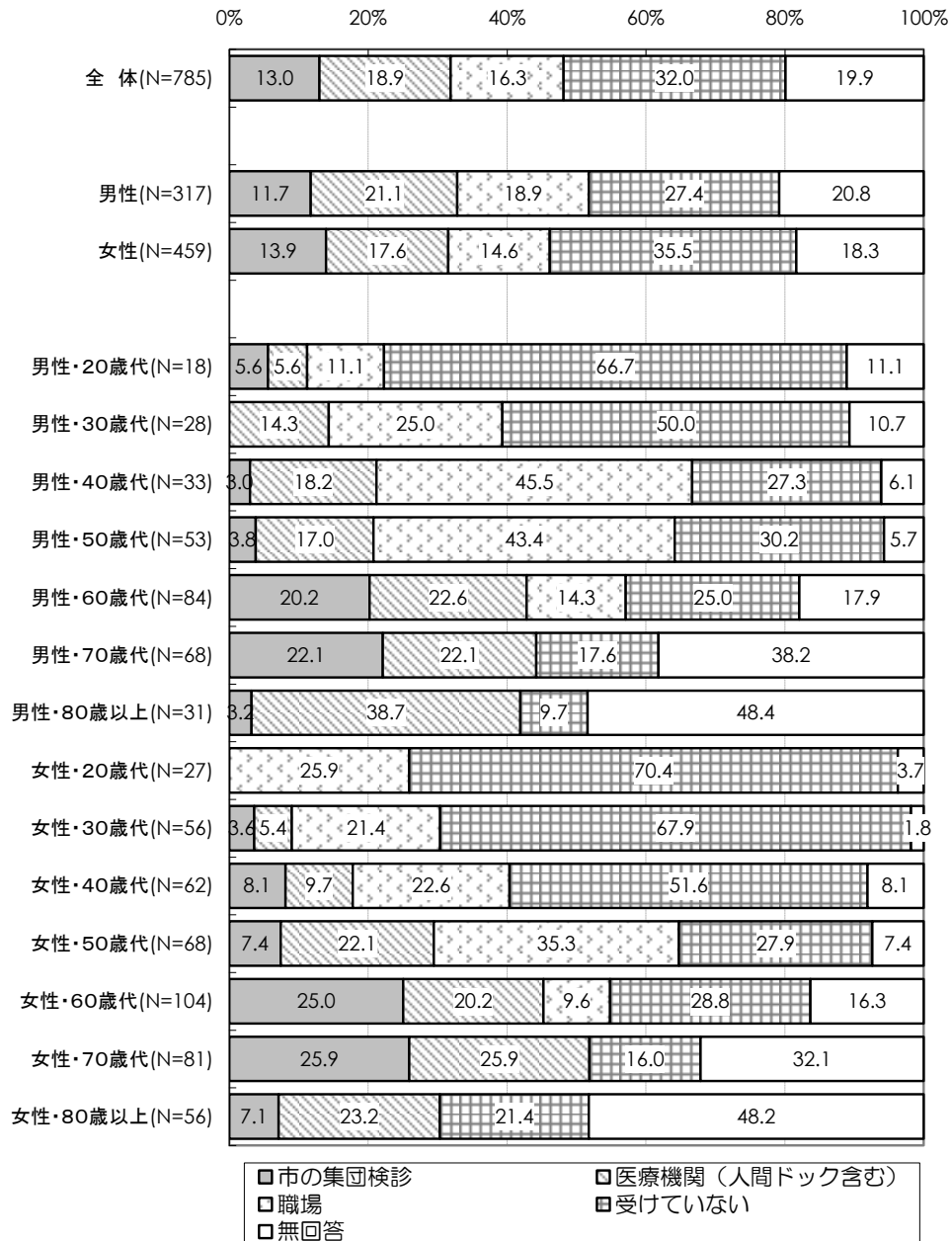


② 胸部（肺がん）検診

胸部（肺がん）検診の受診状況については、「受けていない」が 32.0%と最も多く、受診率は半数未満となっている。

性別にみると、女性では男性に比べて受診率がやや低く、3割以上の人を受けていないことが分かる。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど受診率が低く、特に女性の20歳代で約7割の未受診率となっている。

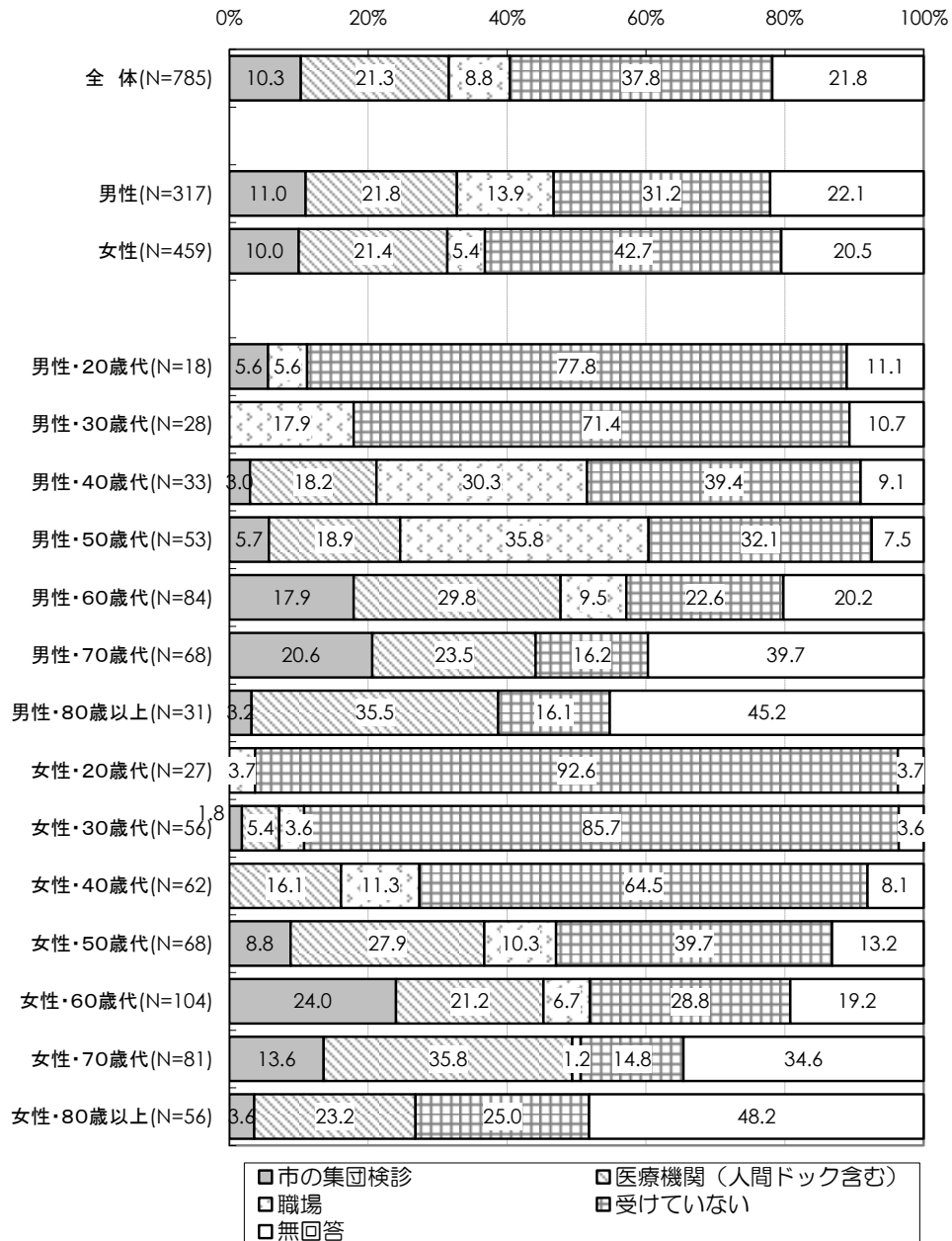


③ 胃がん検診

胃がん検診の受診状況については、「受けていない」が 37.8%と最も多く、受診率は4割程度となっている。

性別にみると、女性では男性に比べて受診率がやや低く、4割以上の人を受けていないことが分かる。

性年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど受診率が低く、特に女性の20～30歳代で8割以上の未受診率となっている。

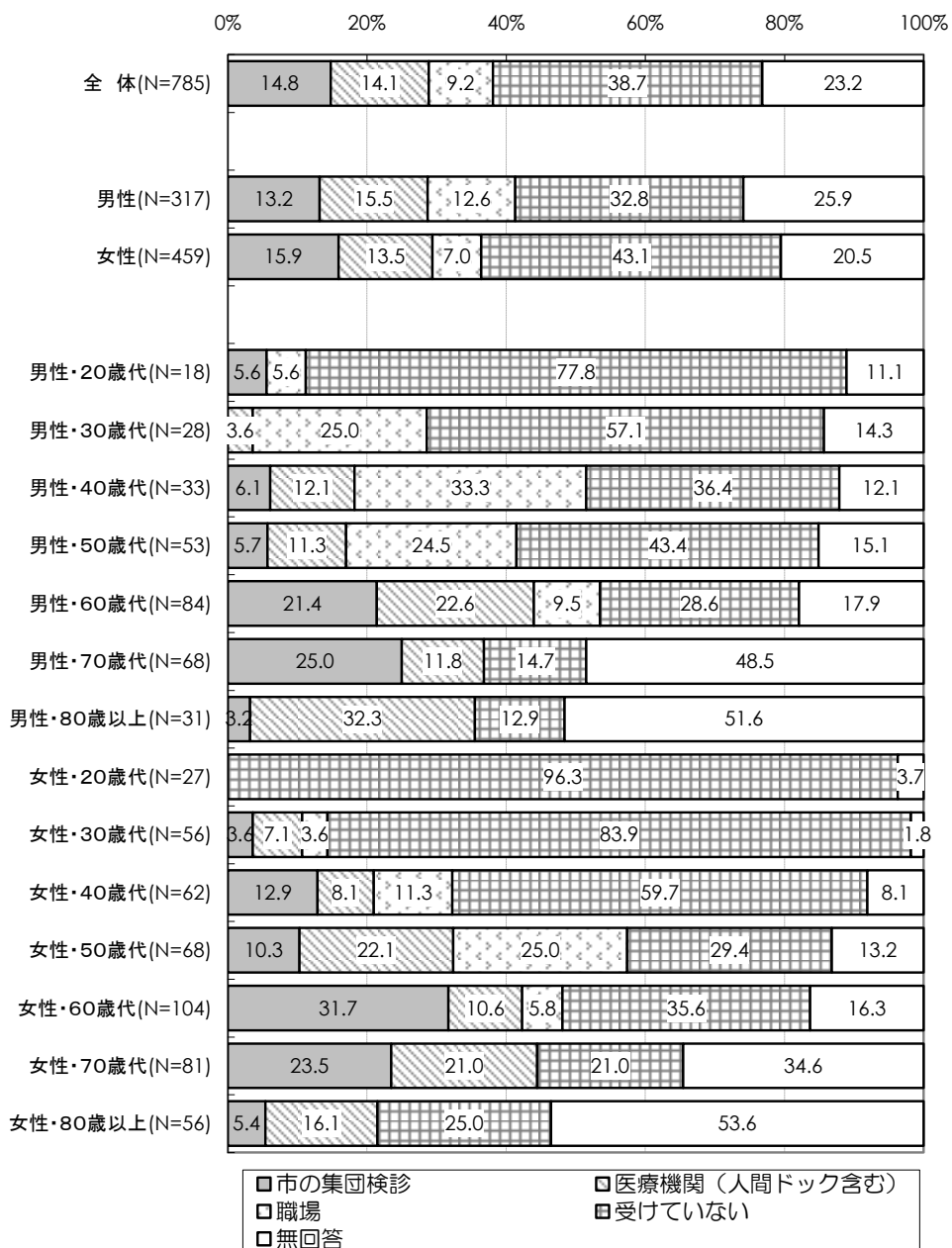


④ 大腸がん検診

大腸がん検診の受診状況については、「受けていない」が 38.7%と最も多く、受診率は 4 割未満となっている。

性別にみると、女性では男性に比べて受診率がやや低く、4 割以上の人を受けていないことが分かる。

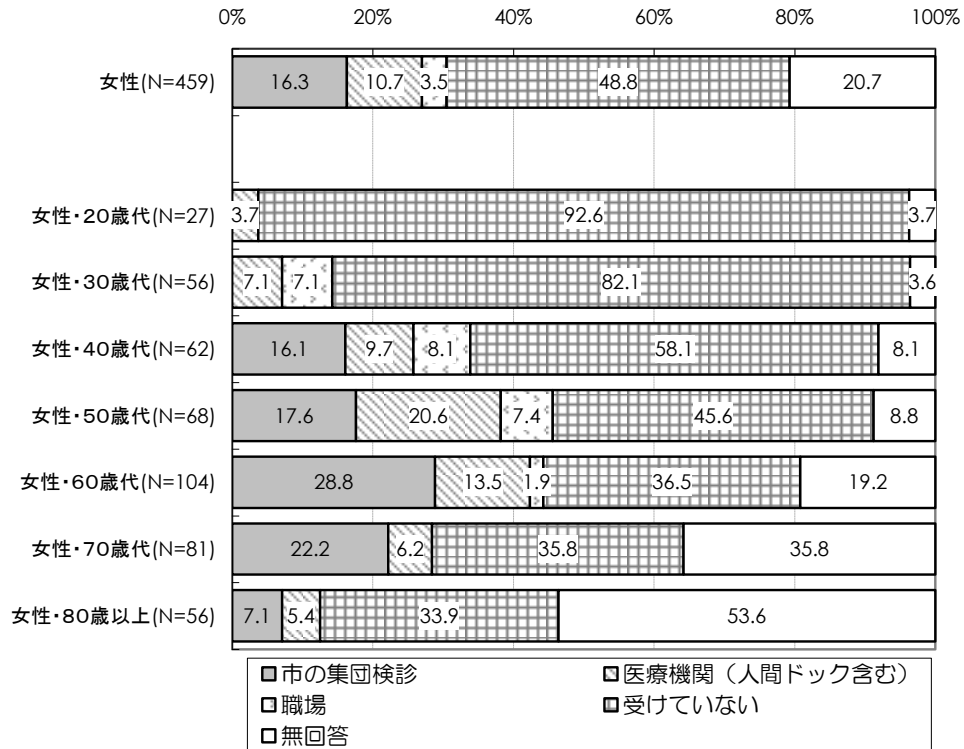
性年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど受診率が低く、特に女性の 20～30 歳代で 8 割以上の未受診率となっている。



⑤ 乳がん検診（女性のみ）

乳がん検診の受診状況については、「受けていない」が 48.8%と最も多く、受診率は3割程度となっている。

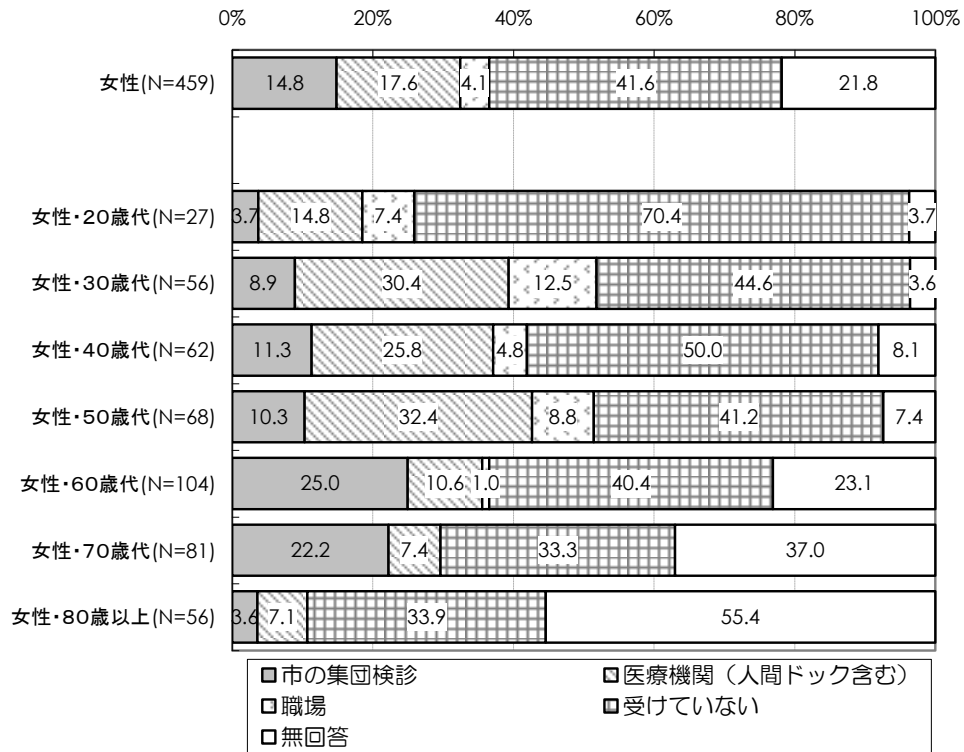
年齢別にみると、年齢が下がるほど受診率が低く、特に20～30歳代で8割以上の未受診率となっている。



⑥ 子宮がん検診（女性のみ）

子宮がん検診の受診状況については、「受けていない」が 41.6%と最も多く、受診率は 4 割未満となっている。

年齢別にみると、年齢が下がるほど受診率が低く、特に 20 歳代で約 7 割の未受診率となっている。



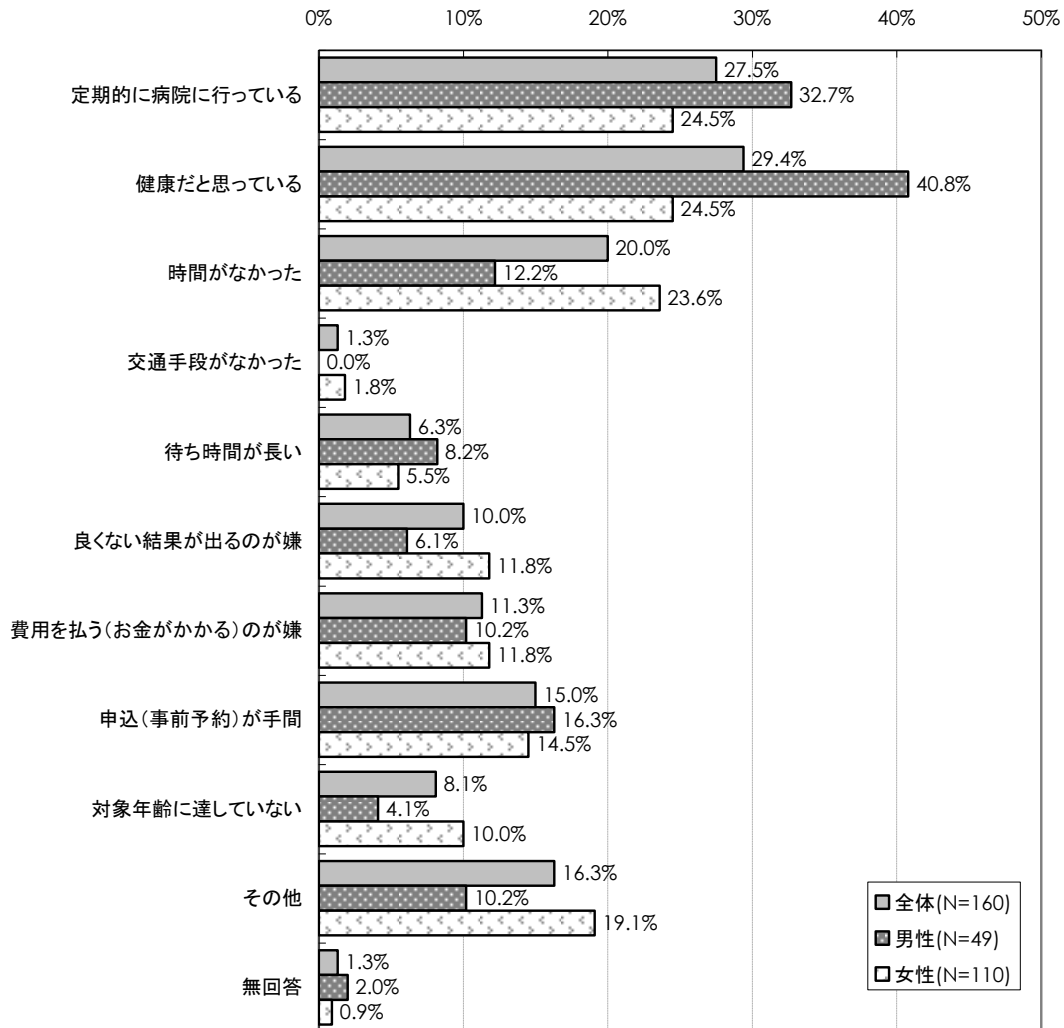
問 27①で「受けていない」と回答した人のみ

問 27-1 受けなかった理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

特定健診・健康診査を受けなかった理由については、「健康だと思っている」が 29.4%と最も多く、次いで「定期的に病院に行っている」が 27.5%、「時間がなかった」が 20.0%の順となっている。

性別にみると、男性では「定期的に病院に行っている」、「健康だと思っている」などの回答が女性に比べて多く、女性では「時間がなかった」、「良くない結果が出るのが嫌」などの回答が男性に比べて多くなっている。



■ 問 27- 1 のクロス集計（性年齢別）

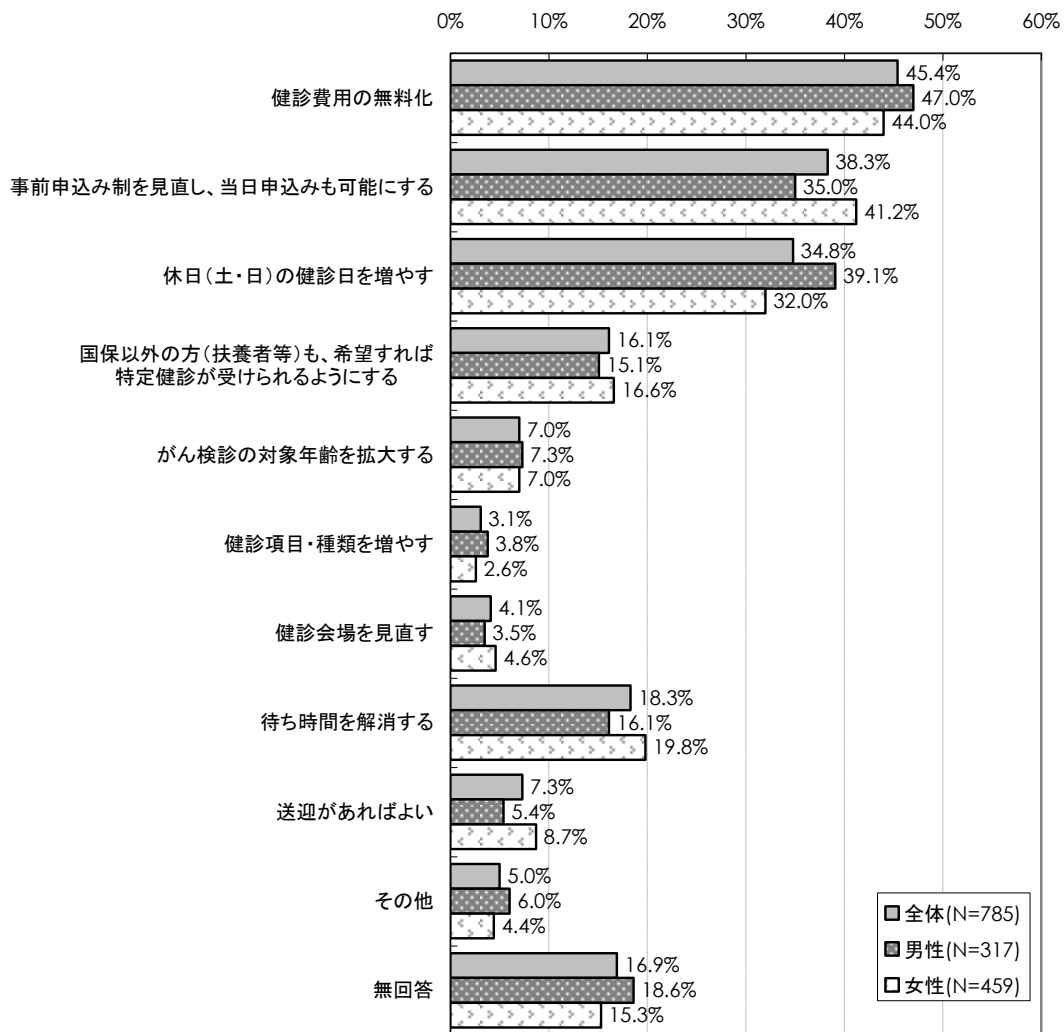
	定期的に病院に行っている	健康だと思っている	時間がなかった	交通手段がなかった	待ち時間が長い	良くない結果が出るのが嫌
男性・20歳代(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
男性・30歳代(N=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
男性・40歳代(N=6)	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7
男性・50歳代(N=9)	11.1	55.6	22.2	0.0	0.0	11.1
男性・60歳代(N=13)	23.1	53.8	7.7	0.0	23.1	7.7
男性・70歳代(N=12)	75.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
男性・80歳以上(N=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・20歳代(N=7)	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3
女性・30歳代(N=18)	0.0	22.2	33.3	0.0	5.6	5.6
女性・40歳代(N=19)	0.0	26.3	26.3	0.0	15.8	21.1
女性・50歳代(N=16)	6.3	12.5	68.8	6.3	6.3	12.5
女性・60歳代(N=26)	42.3	30.8	7.7	3.8	0.0	15.4
女性・70歳代(N=8)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・80歳以上(N=14)	78.6	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1

	費用を払う（お金がかかる）のが嫌	申込（事前予約）が手間	対象年齢に達していない	その他	無回答
男性・20歳代(N=2)	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
男性・30歳代(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
男性・40歳代(N=6)	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
男性・50歳代(N=9)	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
男性・60歳代(N=13)	7.7	15.4	7.7	23.1	0.0
男性・70歳代(N=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性・80歳以上(N=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
女性・20歳代(N=7)	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0
女性・30歳代(N=18)	22.2	22.2	38.9	22.2	5.6
女性・40歳代(N=19)	26.3	47.4	5.3	26.3	0.0
女性・50歳代(N=16)	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0
女性・60歳代(N=26)	11.5	3.8	3.8	26.9	0.0
女性・70歳代(N=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・80歳以上(N=14)	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0

問 28 市で行う健診全般の改善点についておたずねします。どのようになれば健診を受診するようになりますか。（あてはまるものすべてに○）

健診全般の改善点については、「健診費用の無料化」が 45.4%と最も多く、次いで「事前申込み制を見直し、当日申込みも可能にする」が 38.3%、「休日（土・日）の健診日を増やす」が 34.8%の順となっている。

性別にみると、男性では「休日（土・日）の健診日を増やす」などの回答が女性に比べてやや多く、女性では「事前申込み制を見直し、当日申込みも可能にする」などの回答が男性に比べてやや多くなっている。



■ 問 28 のクロス集計（性年齢別）

	健診費用の無料化	事前申込み制を見直し、当日申込みも可能にする	休日（土・日）の健診日を増やす	国保以外の方（扶養者等）も希望すれば特定健診が受けられるようにする	がん検診の対象年齢を拡大する	健診項目・種類を増やす
男性・20歳代(N=18)	50.0	44.4	33.3	22.2	22.2	0.0
男性・30歳代(N=28)	46.4	28.6	50.0	21.4	14.3	7.1
男性・40歳代(N=33)	54.5	36.4	72.7	9.1	9.1	3.0
男性・50歳代(N=53)	60.4	26.4	62.3	24.5	5.7	1.9
男性・60歳代(N=84)	47.6	44.0	26.2	21.4	3.6	4.8
男性・70歳代(N=68)	45.6	33.8	29.4	4.4	5.9	4.4
男性・80歳以上(N=31)	19.4	29.0	12.9	3.2	6.5	3.2
女性・20歳代(N=27)	63.0	40.7	55.6	18.5	14.8	0.0
女性・30歳代(N=56)	67.9	30.4	51.8	26.8	30.4	3.6
女性・40歳代(N=62)	66.1	51.6	51.6	25.8	3.2	4.8
女性・50歳代(N=68)	48.5	51.5	44.1	25.0	1.5	0.0
女性・60歳代(N=104)	31.7	51.0	22.1	15.4	4.8	1.9
女性・70歳代(N=81)	30.9	33.3	14.8	6.2	2.5	4.9
女性・80歳以上(N=56)	25.0	25.0	10.7	3.6	1.8	1.8

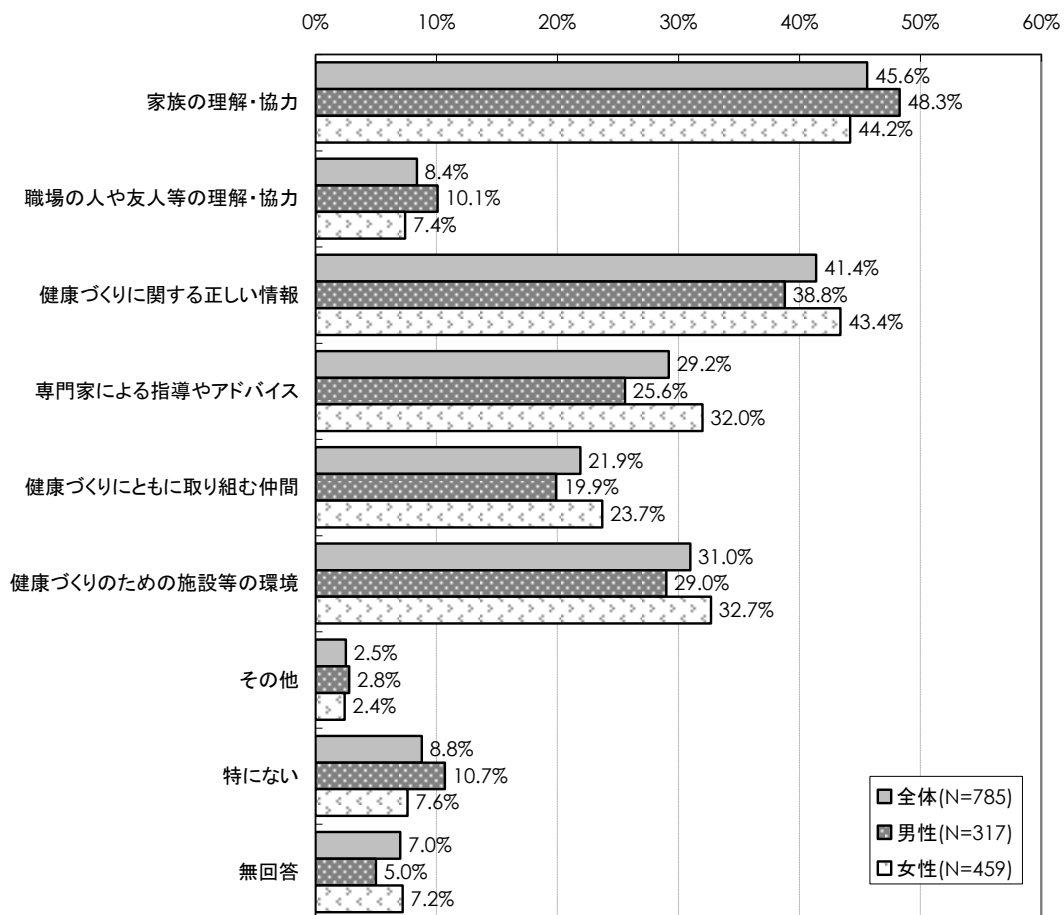
	健診会場を見直す	待ち時間を解消する	送迎があればよい	その他	無回答
男性・20歳代(N=18)	0.0	16.7	5.6	16.7	11.1
男性・30歳代(N=28)	0.0	10.7	3.6	14.3	14.3
男性・40歳代(N=33)	0.0	24.2	9.1	3.0	6.1
男性・50歳代(N=53)	3.8	13.2	7.5	7.5	13.2
男性・60歳代(N=84)	6.0	23.8	2.4	4.8	10.7
男性・70歳代(N=68)	5.9	14.7	5.9	1.5	26.5
男性・80歳以上(N=31)	0.0	0.0	6.5	6.5	51.6
女性・20歳代(N=27)	7.4	14.8	3.7	7.4	7.4
女性・30歳代(N=56)	3.6	21.4	3.6	5.4	1.8
女性・40歳代(N=62)	6.5	27.4	1.6	4.8	4.8
女性・50歳代(N=68)	4.4	20.6	5.9	1.5	7.4
女性・60歳代(N=104)	3.8	23.1	7.7	3.8	11.5
女性・70歳代(N=81)	6.2	18.5	16.0	6.2	27.2
女性・80歳以上(N=56)	0.0	7.1	19.6	1.8	39.3

そ の 他

問 29 あなたがより健康になるためには、あなた自身の努力以外に、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

より健康になるために必要なことについては、「家族の理解・協力」が45.6%と最も多く、次いで「健康づくりに関する正しい情報」が41.4%、「健康づくりのための施設等の環境」が31.0%の順となっている。

性別にみると、男性では「家族の理解・協力」などの回答が女性に比べてやや多く、女性では「健康づくりに関する正しい情報」、「専門家による指導やアドバイス」などの回答が男性に比べてやや多くなっている。



■ 問 29 のクロス集計（性年齢別）

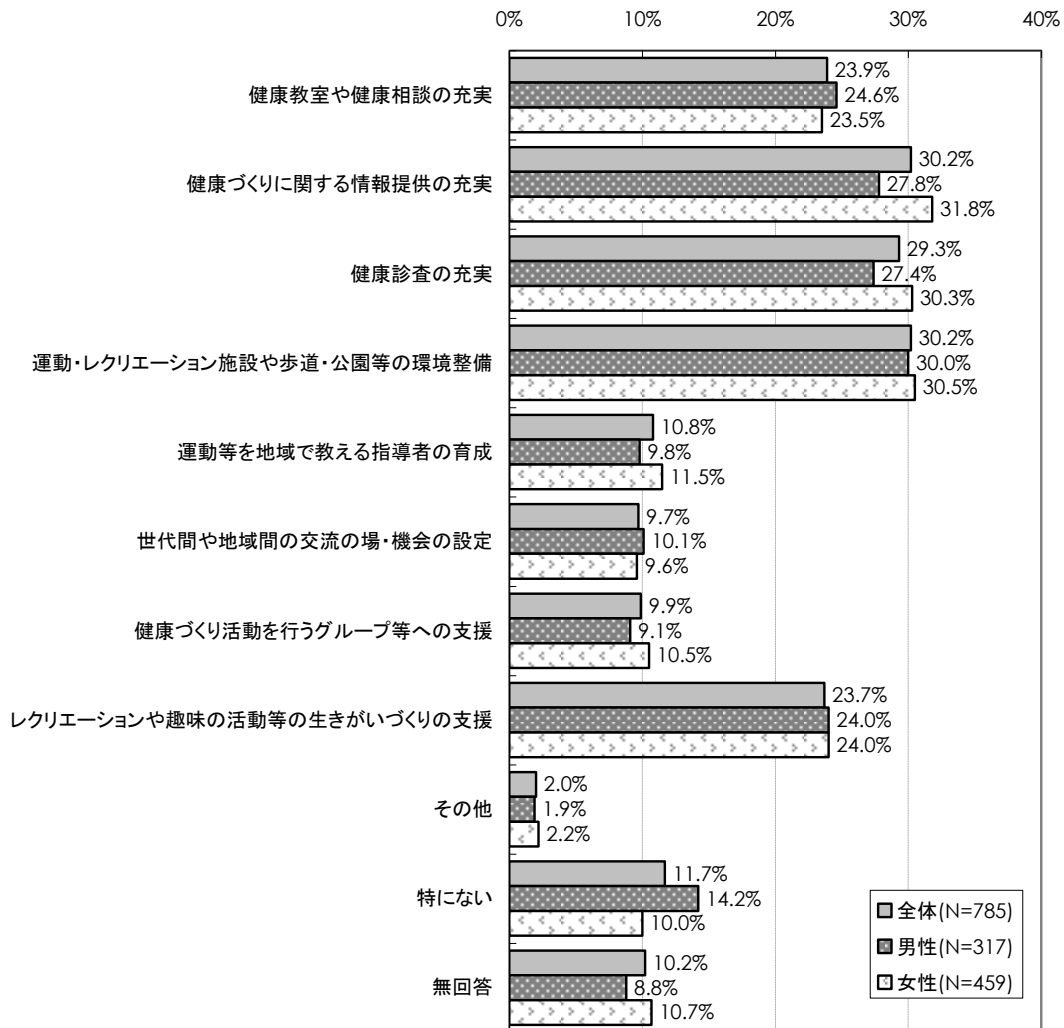
	家族の理解・協力	職場の人や友人等の理解・協力	健康づくりに関する正しい情報	専門家による指導やアドバイス	健康づくりにともに取り組む仲間	健康づくりのための施設等の環境	その他	特にない	無回答
男性・20歳代(N=18)	33.3	16.7	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	5.6	0.0
男性・30歳代(N=28)	50.0	21.4	28.6	21.4	25.0	28.6	0.0	17.9	0.0
男性・40歳代(N=33)	39.4	21.2	36.4	24.2	18.2	33.3	3.0	6.1	6.1
男性・50歳代(N=53)	47.2	13.2	45.3	20.8	18.9	37.7	3.8	7.5	7.5
男性・60歳代(N=84)	48.8	7.1	42.9	28.6	13.1	27.4	4.8	11.9	6.0
男性・70歳代(N=68)	50.0	2.9	35.3	29.4	26.5	27.9	0.0	13.2	2.9
男性・80歳以上(N=31)	64.5	0.0	32.3	16.1	16.1	16.1	3.2	9.7	9.7
女性・20歳代(N=27)	29.6	18.5	55.6	33.3	25.9	40.7	0.0	3.7	3.7
女性・30歳代(N=56)	55.4	16.1	42.9	32.1	21.4	41.1	1.8	10.7	0.0
女性・40歳代(N=62)	53.2	16.1	43.5	37.1	17.7	41.9	1.6	4.8	4.8
女性・50歳代(N=68)	39.7	8.8	42.6	39.7	25.0	48.5	2.9	1.5	5.9
女性・60歳代(N=104)	41.3	1.9	43.3	27.9	31.7	35.6	4.8	7.7	4.8
女性・70歳代(N=81)	43.2	1.2	40.7	30.9	23.5	17.3	2.5	12.3	9.9
女性・80歳以上(N=56)	42.9	1.8	44.6	25.0	16.1	8.9	0.0	8.9	19.6

問 30 これからの伊予市の健康づくり施策としてどのようなことが大切だと思いますか。

（○は3つまで）

伊予市の健康づくり施策として大切だと思うことについては、「健康づくりに関する情報提供の充実」、「運動・レクリエーション施設や歩道・公園等の環境整備」がともに30.2%と最も多く、次いで「健康診査の充実」が29.3%、「健康教室や健康相談の充実」が23.9%の順となっている。

性別にみると、女性では「健康づくりに関する情報提供の充実」、「健康診査の充実」などの回答が男性に比べてやや多くなっている。



■ 問 30 のクロス集計（性年齢別）

	健康教室や健康相談の充実	健康づくりに関する情報提供の充実	健康診査の充実	運動・レクリエーション施設や歩道・公園等の環境整備	運動等を地域で教える指導者の育成	世代間や地域間の交流の場・機会の設定
男性・20歳代(N=18)	16.7	22.2	27.8	44.4	5.6	16.7
男性・30歳代(N=28)	10.7	25.0	32.1	35.7	10.7	10.7
男性・40歳代(N=33)	24.2	15.2	36.4	33.3	12.1	15.2
男性・50歳代(N=53)	30.2	35.8	30.2	47.2	5.7	11.3
男性・60歳代(N=84)	25.0	28.6	25.0	23.8	14.3	7.1
男性・70歳代(N=68)	29.4	32.4	25.0	26.5	8.8	8.8
男性・80歳以上(N=31)	22.6	19.4	19.4	6.5	6.5	9.7
女性・20歳代(N=27)	18.5	25.9	48.1	29.6	3.7	11.1
女性・30歳代(N=56)	28.6	33.9	53.6	42.9	3.6	7.1
女性・40歳代(N=62)	22.6	38.7	40.3	51.6	12.9	6.5
女性・50歳代(N=68)	25.0	33.8	30.9	38.2	13.2	8.8
女性・60歳代(N=104)	21.2	33.7	22.1	25.0	15.4	10.6
女性・70歳代(N=81)	24.7	22.2	21.0	14.8	12.3	12.3
女性・80歳以上(N=56)	21.4	35.7	17.9	19.6	12.5	10.7

	健康づくり活動への支援	レクリエーションの支援	その他	特になし	無回答
男性・20歳代(N=18)	16.7	27.8	11.1	5.6	11.1
男性・30歳代(N=28)	7.1	28.6	0.0	21.4	0.0
男性・40歳代(N=33)	6.1	21.2	0.0	9.1	6.1
男性・50歳代(N=53)	9.4	26.4	3.8	3.8	5.7
男性・60歳代(N=84)	7.1	22.6	1.2	19.0	8.3
男性・70歳代(N=68)	10.3	26.5	1.5	16.2	8.8
男性・80歳以上(N=31)	9.7	16.1	0.0	19.4	25.8
女性・20歳代(N=27)	7.4	29.6	0.0	11.1	0.0
女性・30歳代(N=56)	8.9	21.4	0.0	14.3	0.0
女性・40歳代(N=62)	9.7	24.2	3.2	4.8	3.2
女性・50歳代(N=68)	5.9	29.4	2.9	7.4	7.4
女性・60歳代(N=104)	12.5	24.0	3.8	11.5	11.5
女性・70歳代(N=81)	14.8	21.0	2.5	12.3	18.5
女性・80歳以上(N=56)	10.7	21.4	0.0	7.1	25.0

Ⅲ 調查結果 (小中学生調査)

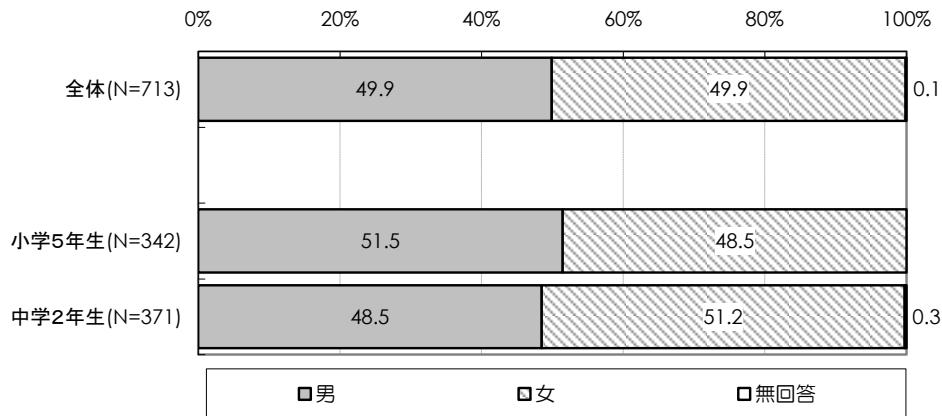
回答者自身について

問1 性別を教えてください。

（○は1つだけ）

性別について、「男」が49.9%、「女」が49.9%と同割合となっている。

学年別にみると、小学5年生では、「男」が51.5%、「女」が48.5%となっている。中学2年生では、「男」が48.5%、「女」が51.2%となっている。

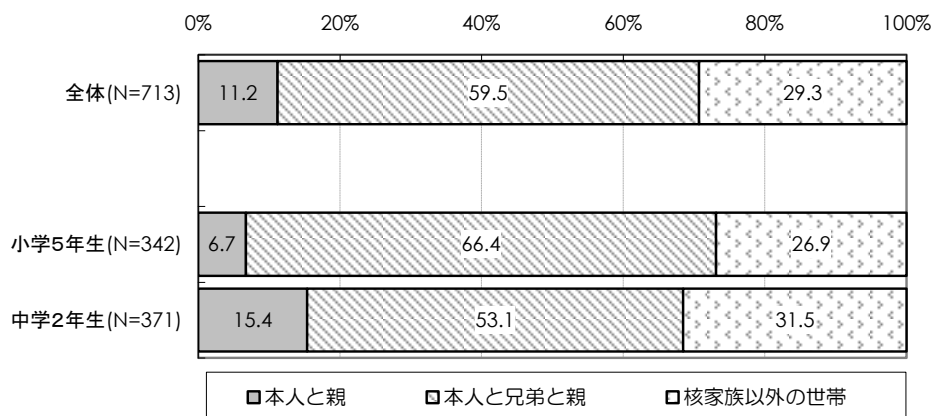


問2 家族構成を教えてください。

（○は1つだけ）

家族構成について、「本人と兄弟と親」が59.5%と約6割を占め、「本人と親」（11.2%）と合わせると大半が核家族となっており、「核家族以外の世帯」は29.3%と約3割となっている。

学年別にみると、小学5年生に比べて中学2年生で「核家族以外の世帯」と回答した人の割合が高く、3割以上を占める結果となっている。



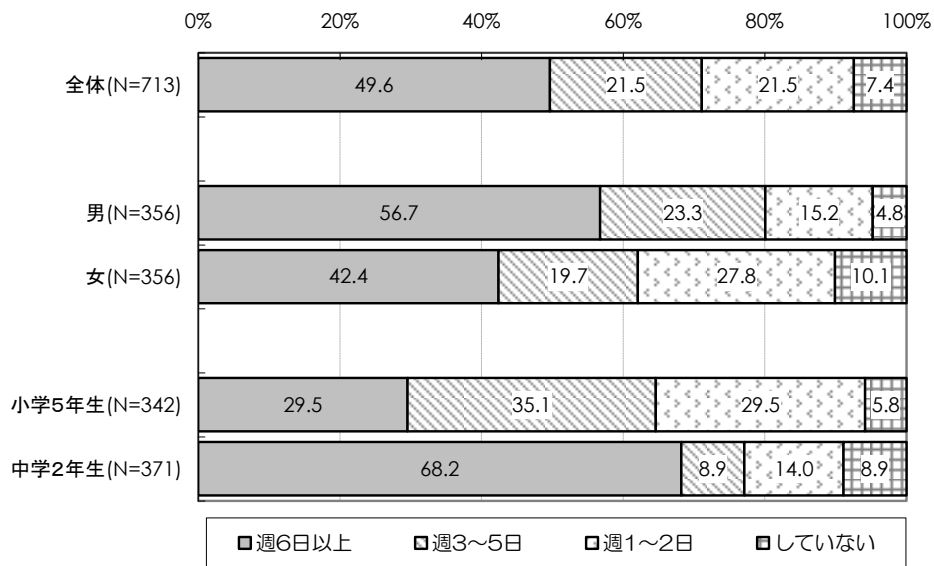
ふだんの生活状況・健康状態について

問3 学校の授業以外で運動をしていますか。 (〇は1つだけ)

学校の授業以外での運動については、「週6日以上」と回答した人が49.6%と約半数を占め、「週3～5日」(21.5%)と合わせると、7割以上の人が週3日以上運動をしていることが分かる。

性別にみると、男では週3日以上運動をしている人が約8割であるのに対し、女では6割程度と、男に比べて女の運動頻度は少ない結果となっている。

学年別にみると、中学2年生では「週6日以上」と回答した人が7割近くとなっており、「週3～5日」(8.9%)と合わせると、8割近くの人が週3日以上運動をしているのに対し、小学5年生では「週6日以上」と回答した人が約3割と、中学2年生に比べると運動頻度は少ない結果となっている。



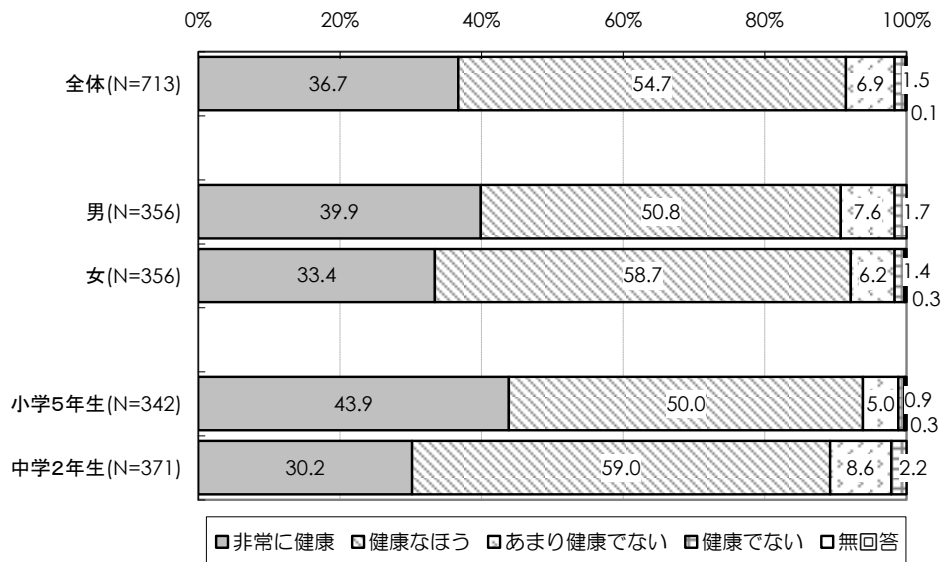
問4 自分は健康だと思いますか。

（○は1つだけ）

健康状況については、「健康なほう」と回答した人が 54.7%と半数以上を占め、「非常に健康」（36.7%）と合わせると、9割以上の方が健康であると感じていることが分かる。

性別にみると、男に比べて女の方が、やや健康であると感じている人が多くなっている。

学年別にみると、中学2年生に比べて小学5年生の方が、やや健康であると感じている人が多く、特に小学5年生では「非常に健康」と回答した人が4割以上を占める結果となっている。



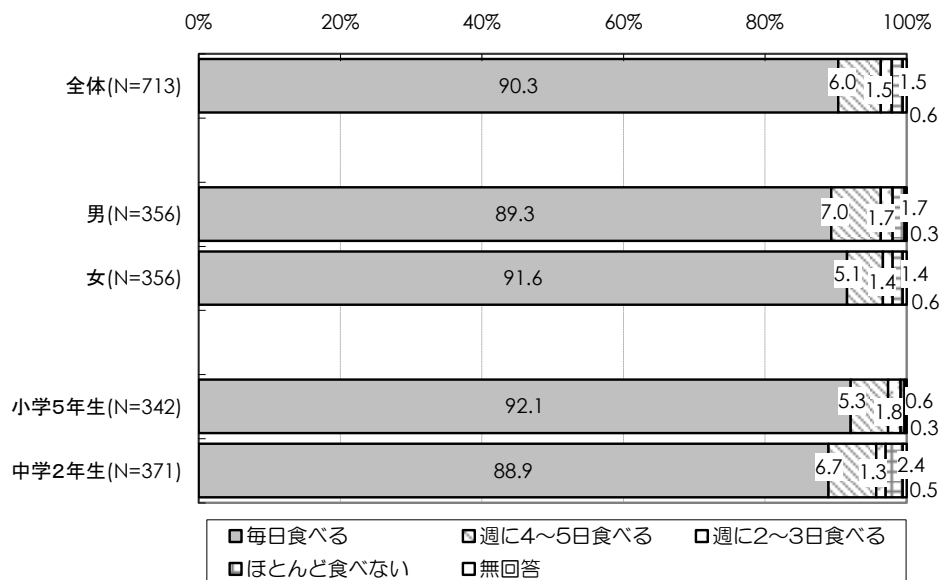
問5 1日3食を食べていますか。

（○は1つだけ）

1日3食の摂取状況については、「毎日食べる」と回答した人が 90.3%と大半を占めているものの、毎日は食べない人が1割近くを占める結果となっている。

性別にみると、男に比べて女の方が、3食を毎日食べている人の割合がやや高いものの、大きな差は見受けられない。

学年別にみると、小学5年生では「毎日食べる」と回答した人が92.1%と9割以上を占めるのに対し、中学2年生では88.9%と、毎日は食べない人が1割以上を占める結果となっている。



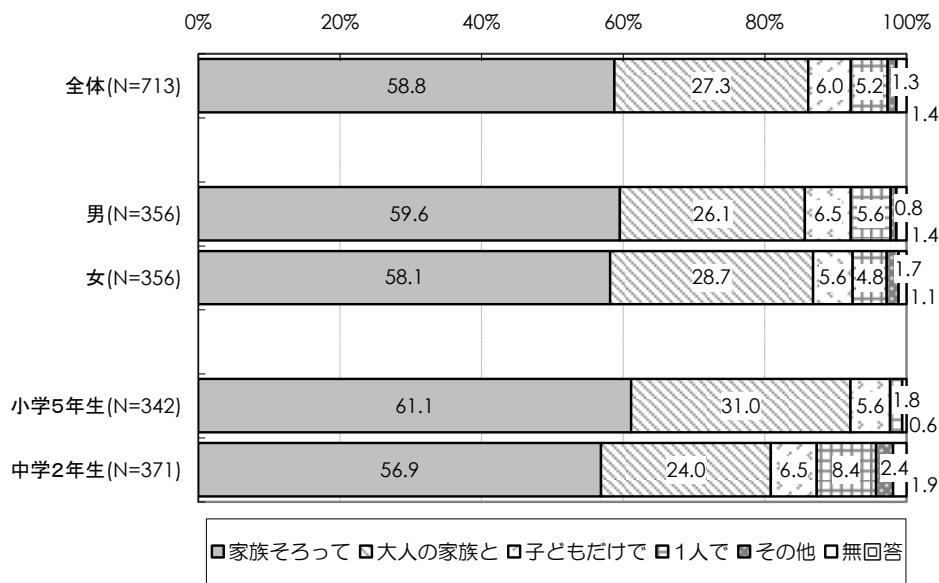
問6 誰と夕食を食べていますか。

(○は1つだけ)

夕食を一緒に食べる人については、「家族そろって」と回答した人が 58.8%と6割近くを占め最も多く、「大人の家族と」(27.3%)と合わせると、8割以上の人が大人の家族と食べているという結果となっている。一方で、「子どもだけで」(6.0%)、「1人で」(5.2%)を合わせると、子どもだけで夕食を食べている人が1割以上を占める結果となっている。

性別にみると、男に比べて女の方が、大人の家族と食べている人の割合がやや大きいものの、大きな差は見受けられない。

学年別にみると、小学5年生では「家族そろって」、「大人の家族と」と回答した人が92.1%と9割以上を占めるのに対し、中学2年生では80.9%と約8割にとどまっており、子どもだけで夕食を食べている人が1割以上を占める結果となっている。



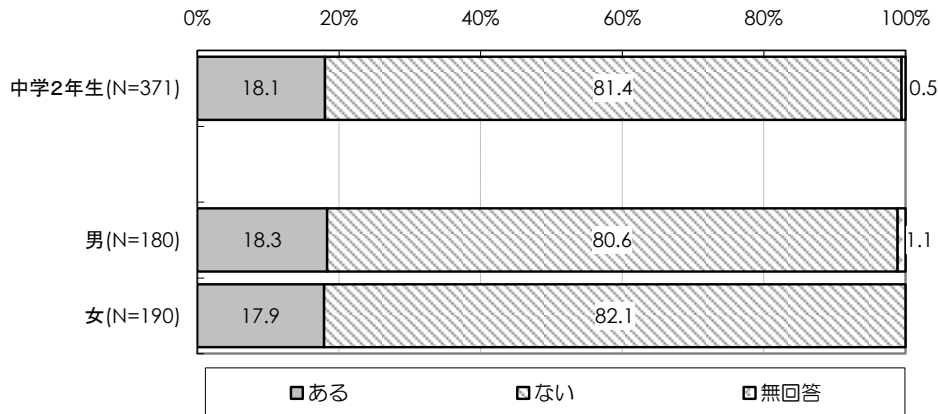
お酒、たばこについて

問7 お酒を飲んだことがありますか。（中学2年生のみ）

（○は1つだけ）

飲酒経験については、「ない」が81.4%と大半を占めているものの、「ある」が18.1%と2割近くを占める結果となっている。

性別にみると、男の方が女に比べて、飲酒をしたことが「ある」と回答した人の割合がやや大きいものの、大きな差は見受けられない。

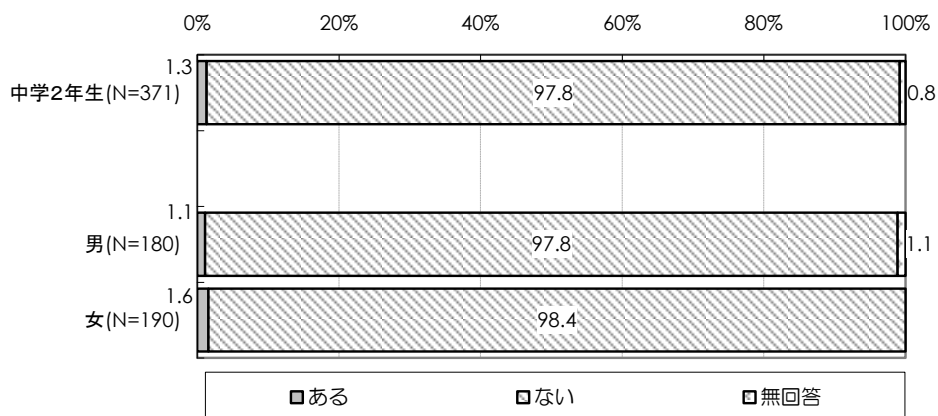


問8 たばこを吸ったことがありますか。（中学2年生のみ）

（○は1つだけ）

喫煙経験については、「ない」が97.8%とほとんどを占めているものの、「ある」が1.3%となっている。

性別にみると、男に比べて女の方が、喫煙をしたことが「ある」と回答した人の割合がやや大きいものの、大きな差は見受けられない。



IV 資料 (調査票)

一般市民調査

計画づくりにあなたの声を！

伊予市

「健康に関するアンケート調査」

【アンケート調査 御協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

市では、健康なひとづくり、健康なまちづくりを基本テーマにした健康づくり計画「元気でしあわせ☆健康い〜よ21！」を平成19年度に策定し、市民のみなさまと一緒に食生活・運動・たばこ・アルコールなど各分野についての健康づくりに取り組んできました。

本年度は、計画の最終年にあたりますので、「最終評価」を行い、市民のみなさまの健康に関する現状や課題を把握し、より身近な「健康い〜よ21」を目指していきたくと考えています。

そのため、市民の皆様方にアンケート調査を依頼し、市の健康づくりに対する取り組みに活用させていただきたいと考えています。

この調査は、平成24年7月1日時点で住民基本台帳に登録されている20歳以上の住民の中から2,000人の方を無作為に選ばせていただいております。

調査の結果は、統計的に処理を行い個人の情報や意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることは決してありませんので趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査の回収・集計作業につきましては、(株)サーベイリサーチセンター四国事務所に委託をしております。

調査票へ御記入のうえ、同封されております返信用封筒へ入れて上記の事務所まで御返送ください。

平成24年 7月

【調査票の御記入にあたってのお願い】

- 1 この調査票には、お名前を書いていただく必要はありません。
- 2 この調査票の記入は、あて名の御本人をお願いいたします。
(なお、御本人が御記入できない場合は、御家族の方などが御本人の意向をお確かめの上、御回答くださるようお願いいたします。)
- 3 この調査は、平成24年7月1日現在でお答えください。(問11以外)
- 4 御記入は、鉛筆やボールペンなどはっきりと読み取れる筆記用具を御使用ください。
- 5 御回答は、回答欄のあてはまる番号を○で囲んでください。御回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、()内に具体的に御記入ください。
- 6 ○をつける数は、設問ごとに示してあります。「○は1つだけ」、「あてはまるものすべてに○」などの○をつける数に御注意ください。
- 7 御記入いただいた調査票は、平成24年7月31日(火)までに、同封の封筒に入れて、切手を貼らずに投函して下さいますようお願いいたします。

【調査についてのお問い合わせ】

伊予市保健センター TEL：089-983-4052/FAX：089-983-5295

Ⅲ

心の健康、休養についてお伺いします。

問16 この1か月の間に、悩みや疲れ、人間関係などのストレスを感じたことがありましたか。

【○は1つだけ】

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 強くある | 2 ある | 3 少しある |
| 4 あまりない | 5 全くない | |

《問16-1については、問16で「1」～「3」と答えた方のみお答えください》

問16-1 内容はどのようなものですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 仕事に関する事 | 2 リストラ・失業に関する事 |
| 3 自分の健康に関する事 | 4 家族の健康に関する事 |
| 5 子どもに関する事 | 6 親に関する事 |
| 7 夫婦に関する事 | 8 家計に関する事 |
| 9 借金・ローンの返済に関する事 | 10 生きがい・将来に関する事 |
| 11 人付き合いに関する事 | 12 社会問題に関する事 |
| 13 近所・自宅周囲の生活環境に関する事 | 14 出産・育児に関する事 |
| 15 その他（具体的に： _____） | |

全員におたずねします。

問17 仕事や日常生活の中で、精神的にくたくたになることがありますか。【○は1つだけ】

- | | | |
|---------|----------|--------|
| 1 いつもある | 2 しばしばある | 3 時々ある |
| 4 あまりない | 5 全くない | |

問18 悩みなどがあれば、相談できる人はいますか。【どちらかに○】

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

《問18-1については、問18で「1. いる」と答えた方のみお答えください》

問18-1 主に誰に相談していますか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 家族 | 2 友人・知人 |
| 3 医師・カウンセラー・保健師等 | 4 その他（具体的に： _____） |

全員におたずねします。

問19 睡眠によって、十分な休養がとれていると思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分とれている | 2 少しはとれている |
| 3 あまりとれていない | 4 まったくとれていない |

IV お酒・たばこについてお伺いします。

問20 たばこを吸いますか。【○は1つだけ】

- 1 以前から吸わない
- 2 以前は吸っていたが、今は吸わない
- 3 現在 (毎日または時々) 吸っている

《問20-1については、問20で「3. 現在吸っている」と答えた方のみお答えください》

問20-1 禁煙について、どれくらい関心がありますか。【○は1つだけ】

- 1 この1ヶ月以内に禁煙しようと考えている
- 2 関心はあるが、禁煙しようとは考えていない
- 3 あまり関心がない

全員におたずねします。

問21 あなたは受動喫煙 (たばこを吸っている人の煙を吸うこと) を受けていますか。

【どちらかに○】

- 1 はい
- 2 いいえ

《問21-1については、問21で「1. はい」と答えた方に、おたずねします》

問21-1 どんな場所で受動喫煙 (たばこを吸っている人の煙を吸うこと) を受けていますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | | | |
|------|---------------------|-------|
| 1 家庭 | 2 職場 | 3 飲食店 |
| 4 学校 | 5 その他 (具体的に: _____) | |

全員におたずねします。

問22 あなたは、お酒 (清酒・焼酎・ビール・洋酒など) を、どのくらいの頻度で飲みますか。【○は1つだけ】

- 1 毎日 (6~7日/週)
- 2 週4~5日
- 3 週1~3日
- 4 月2~3日
- 5 ほとんど飲まない

《問22-1については、問22で「1」~「4」と答えた方のみお答えください》

問22-1 お酒を飲む日は、1日あたりどれくらいの量を飲みますか。【○は1つだけ】

- | | |
|--------|--------|
| 1 1合未満 | 2 1合程度 |
| 3 2合程度 | 4 3合以上 |

※ 清酒1合 (180 ml) は次の量にほぼ相当します。

ビール・発泡酒 中瓶1本 (約500 ml)、焼酎20度 (135 ml)、

焼酎35度 (80 ml)、酎ハイ7度 (350 ml)、

ウイスキーダブル1杯 (60 ml)、ワイン2杯 (240 ml)

全員におたずねします。

V

歯についてお伺いします。

問23 1日に何回歯をみがきますか。【○は1つだけ】

- 1 毎食後、みがいている
- 2 最低1日1回はみがいている
- 3 1回もみかがない時がある

問24 自分の歯は何本ありますか。【○は1つだけ】

※ 親知らず、入れ歯、インプラントは数に入れません。差し歯は数えます。
親知らずを除くと、全部で28本が正常です。

- 1 0本
- 2 1～9本
- 3 10～19本
- 4 20～23本
- 5 24本以上

問25 定期的に歯科健診を受けていますか。【○は1つだけ】

- 1 1年に1回以上受けている
- 2 数年に1回程度受けている
- 3 受けていない

問26 あなたは、「8020（はちまるにいまる）運動」を知っていますか。【○は1つだけ】

- 1 内容を知っている
- 2 言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 知らない



VI 健康診査などについてお伺いします。

問27 この1年間の健康診査等の受診状況についておたずねします。下の①～⑥の健診について、どこで受けましたか。受けなかった方は「4. 受けていない」に○をつけてください。【それぞれ○は1つずつ】

	市の集団 検診(※)	医療機関 (人間ドック含む)	職場	受けていない
① 特定健診又は健康診査 (検尿・血圧・腹囲・血液・身体計測・診察)	1	2	3	4
② 胸部(肺がん)検診	1	2	3	4
③ 胃がん検診	1	2	3	4
④ 大腸がん検診	1	2	3	4
⑤ 乳がん検診(女性のみ)	1	2	3	4
⑥ 子宮がん検診(女性のみ)	1	2	3	4

※ 市で実施する集団検診は、子宮がん検診は20歳以上、その他の検診は40歳以上の方が受診対象です。

◀問27①で、特定健診を「4. 受けていない」と答えた人のみお答えください▶

問27-1 受けなかった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 定期的に病院に行っている | 2 健康だと思っている |
| 3 時間がなかった | 4 交通手段がなかった |
| 5 待ち時間が長い | 6 良くない結果が出るのが嫌 |
| 7 費用を払う(お金がかかる)のが嫌 | 8 申込(事前予約)が手間 |
| 9 対象年齢に達していない | 10 その他(具体的に:) |

全員におたずねします。

問28 市で行う健診全般の改善点についておたずねします。

どのようになれば健診を受診するようになりますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 健診費用の無料化
- 2 事前申込み制を見直し、当日申込みも可能にする
- 3 休日(土・日)の健診日を増やす
- 4 国保以外の方(扶養者等)も希望すれば特定健診が受けられるようにする
- 5 がん検診の対象年齢を拡大する(具体的に:)
- 6 健診項目・種類を増やす(具体的に:)
- 7 健診会場を見直す(具体的に:)
- 8 待ち時間を解消する
- 9 送迎があればよい
- 10 その他(具体的に:)

Ⅲ

食生活についておうかがいします。

問5 あなたは、ふだん朝・昼・夕食の3食を食べていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 ほとんど毎日食べる | 2 週に4～5日ぐらい食べる |
| 3 週に2～3日ぐらい食べる | 4 ほとんど食べない |

問6 あなたは、ふだん夕食を誰と食べますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 家族そろって食べる | 2 おとなの家族の誰かと食べる |
| 3 子どもだけで食べる | 4 1人で食べる |
| 5 その他（具体的に： | ） |

問7 健康で安全に過ごすために、伊予市に「こんなことがあったらいいな」「こんなことをしてくれたらいいな」と思うことがあったら、自由に書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

